

HIKVISION E-UI4.0(Efficient User Interface) レコーダー操作簡易マニュアル



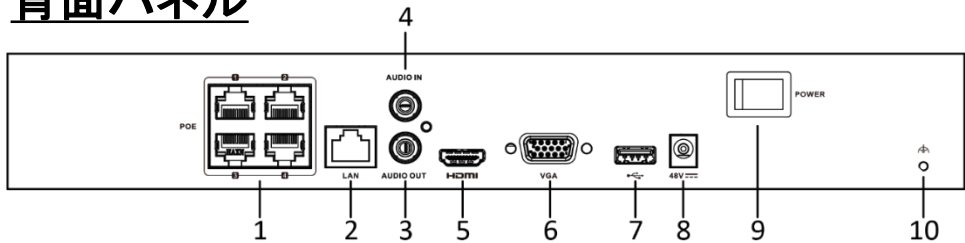
HIKVISION®

前面パネル



No.	名称	説明
1	Power	起動中は、ランプが緑色に光ります。
	Status	HDDの読み取りおよび書き込み中は、ランプが赤く点滅します。
	Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能している場合、Tx / Rxランプが緑色に点滅します。
2	USB	USB(2.0) マウスやUSBメモリー用ポート

背面パネル



No.	名称	No.	名称
1	PoE LANポート	6	VGA
2	LANポート	7	USB(2.0)
3	音声出力	8	電源アダプター差込口
4	音声入力	9	電源スイッチ
5	HDMI	10	GND

画面操作はマウスを使って操作します。

左クリック	右クリック
決定、選択	キャンセル、スキップ

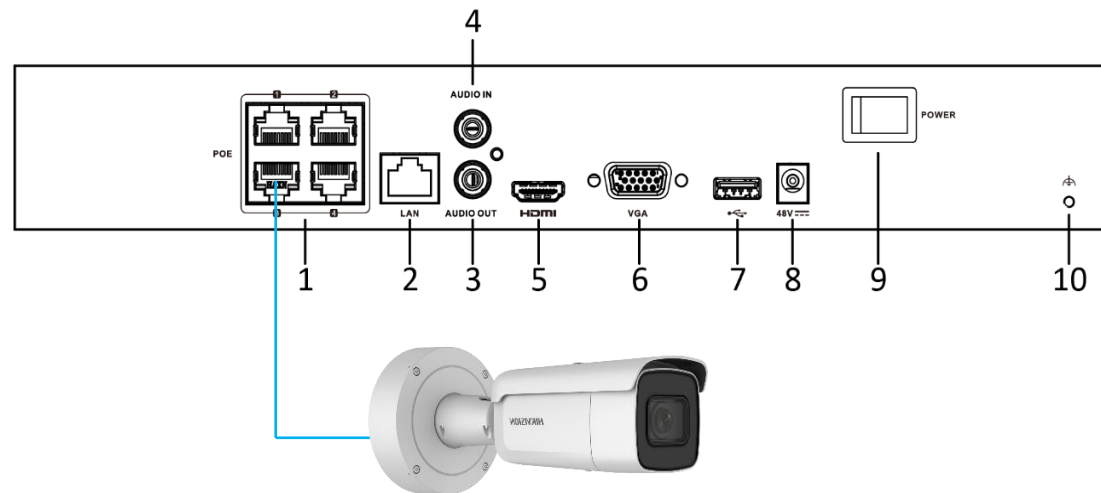


文字入力システムキーボードを使用しマウスで選択・入力を行います。



プラグアンドプレイ

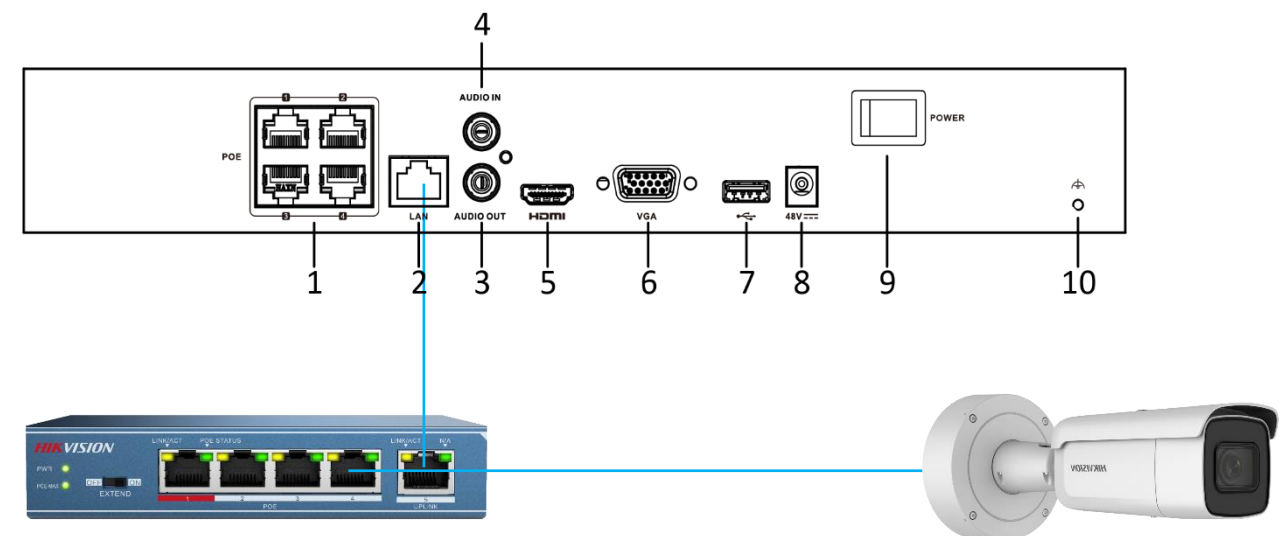
レコーダーのPoE LANポートを(図1番)使用してカメラの電源供給をレコーダーから行います。
カメラのIPアドレスは自動割振りされ自動で登録する方法
※1ポート30W、4ポートで合計50Wまで。
※カメラのLANケーブル最大距離は100m以内で接続してください。



登録手順は16ページ参照

IP登録

レコーダーのLANポートに(図2番)PoEスイッチを繋ぎ、カメラはPoEスイッチから給電します。
IPカメラのIPアドレスをレコーダーに登録して手動で登録する方法



登録手順は17ページ参照

1. レコーダーのセットアップ

パスワード設定

レコーダーのパスワードをマウスとシステムキーボードを使用し入力します。

[パスワード変更]・[パスワードの確認]の箇所と同じパスワードを入力してください。(最低限、小文字と数字の8桁以上)

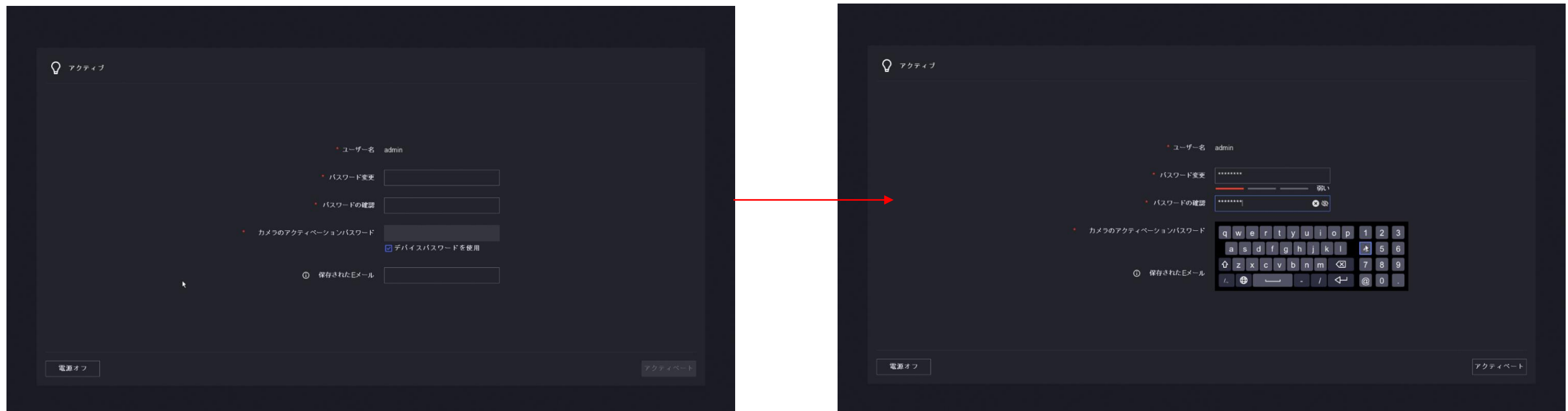
[カメラのアクティベーションパスワード]も同じパスワードを使用する場合は[デバイスパスワードを使用]にチェックを入れてください。

入力後は右下のアクティベートを左クリックしてレコーダーのパスワード設定を完了します。

※パスワードに[admin]の文字を使用することはできません。例:[admin123],[admin000]

※カメラのアクティベーションパスワードはパスワード未設定のIPカメラにレコーダーから自動で割振られるパスワードとなります。

※保存されたEメールはレコーダーのパスワードを忘れた際に登録したメールアドレスで再設定を行うことができます。
Eメール機能を使用するにはネットワークへの接続、ネットワーク設定が必要となります。



解除パターン設定

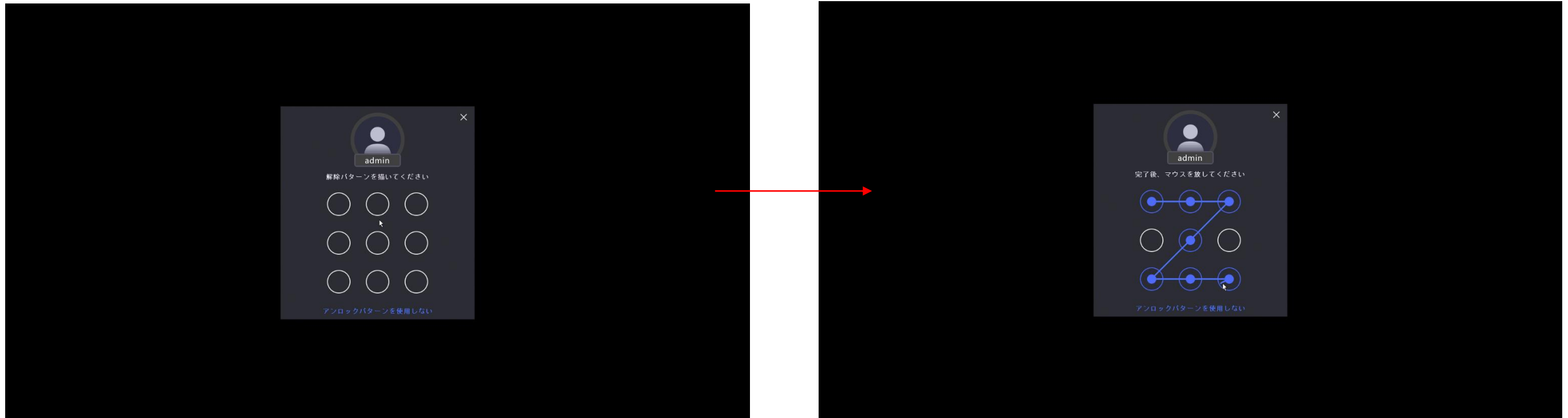
レコーダーのパスワードに加えてもう1つ追加で解除パターンを設定します。

マウス操作にて9つの○から4つ以上を選び一筆書きで○を結びます。

最初に解除パターンを設定した後、確認の為もう一度同じ解除パターンを描きます。(計2回)

※一筆書きとなりますので線を結び終わるまで、マウスの左クリック部分は離さないでください。

※右クリックで設定をスキップすることも可能です。



ウィザード

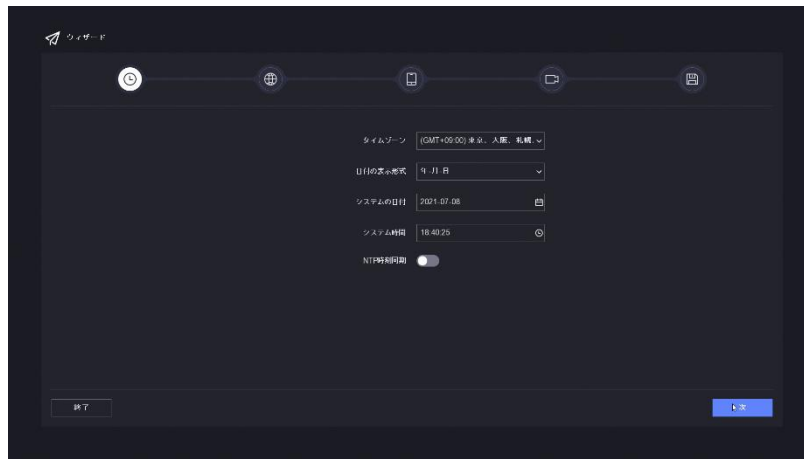
ウィザード画面にてレコーダーの簡易的な設定を予め設定することが可能です。

レコーダーの時刻設定→レコーダーのネットワーク設定→Hik-Connect設定→IPカメラ登録設定→HDD設定の流れとなります。

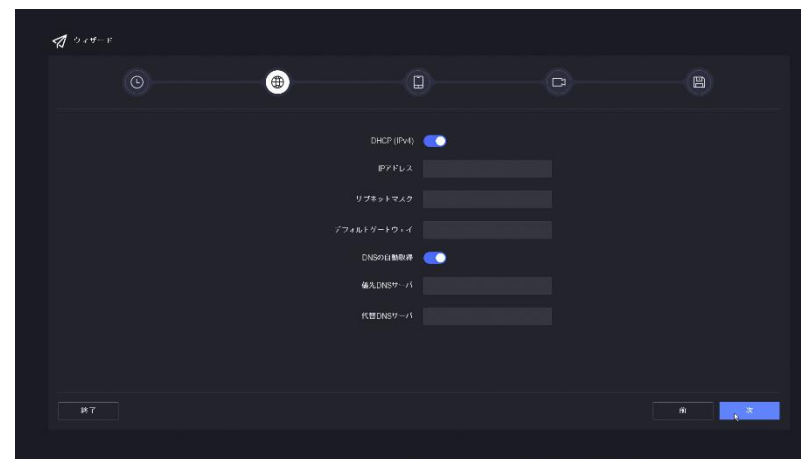
ウィザードにて設定する項目はセットアップ後にも設定することが可能です。

設定を開始する場合は次へを左クリックして設定を開始し、設定を行わない場合は終了を左クリックします。

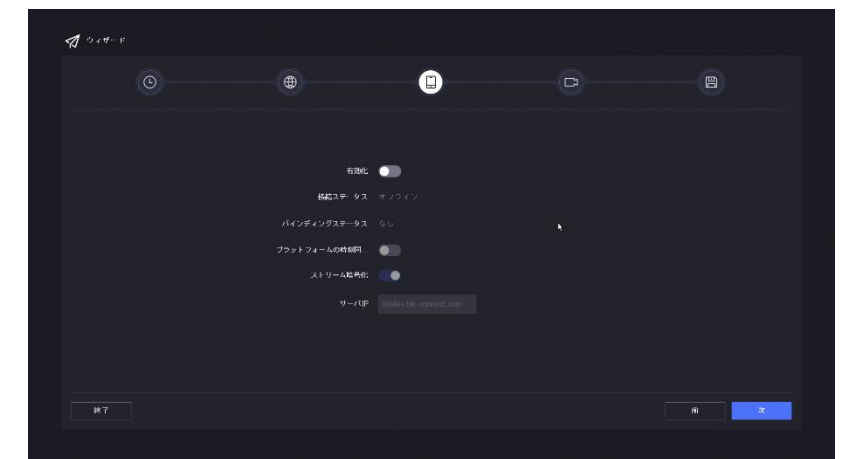
※本マニュアルではウィザードの設定は割愛させていただきます。



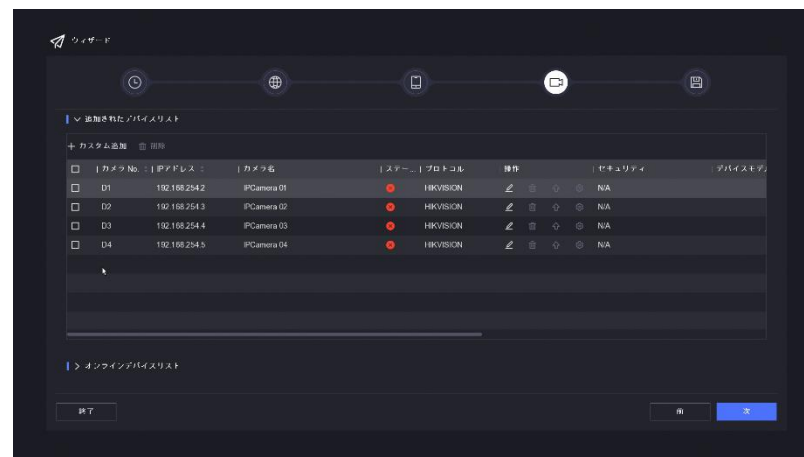
レコーダーの時刻設定は20ページ



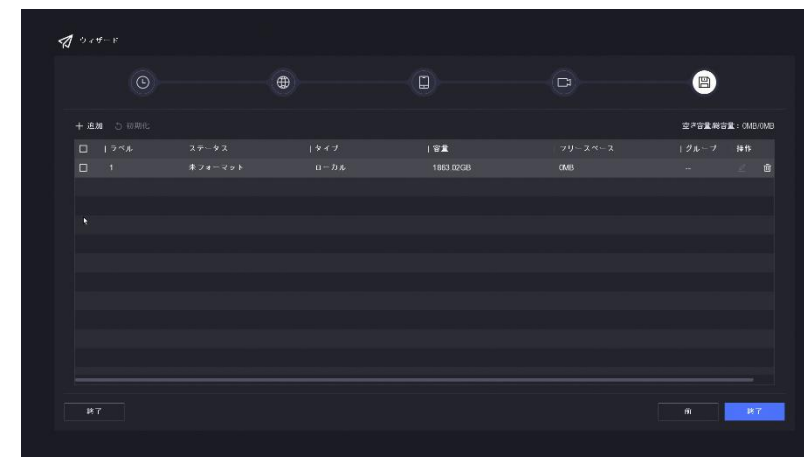
レコーダーのネットワーク設定は13ページ



Hik-Connectの設定は37ページ



IPカメラの登録設定は15ページ



HDD設定は7ページ

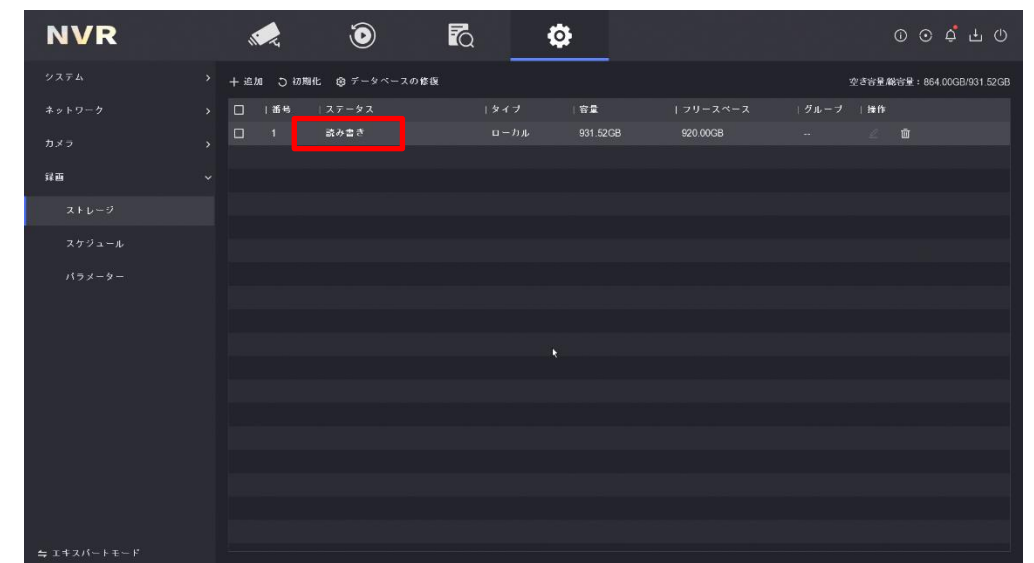
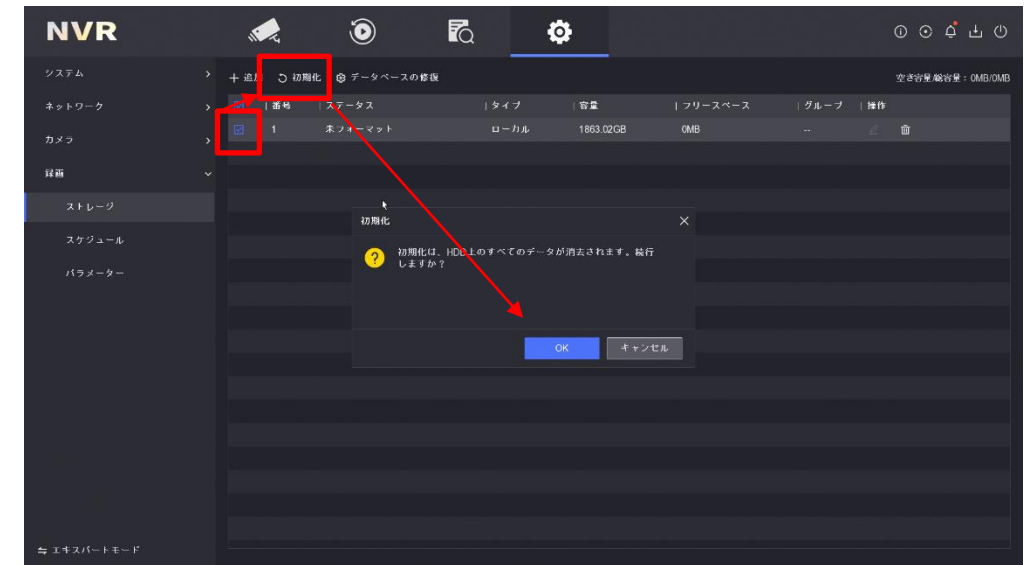
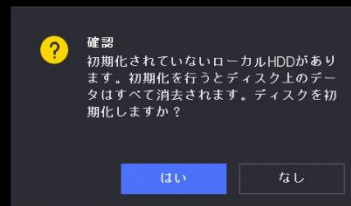
2.

HDDの初期化

HDDの初期化

セットアップ完了後、HDD初期化のアナウンス画面が表示された場合、
[はい]を左クリックしてHDD初期化画面へ進みます。
HDDの初期化を行うことでレコーダーの警告音を消すことが可能です。

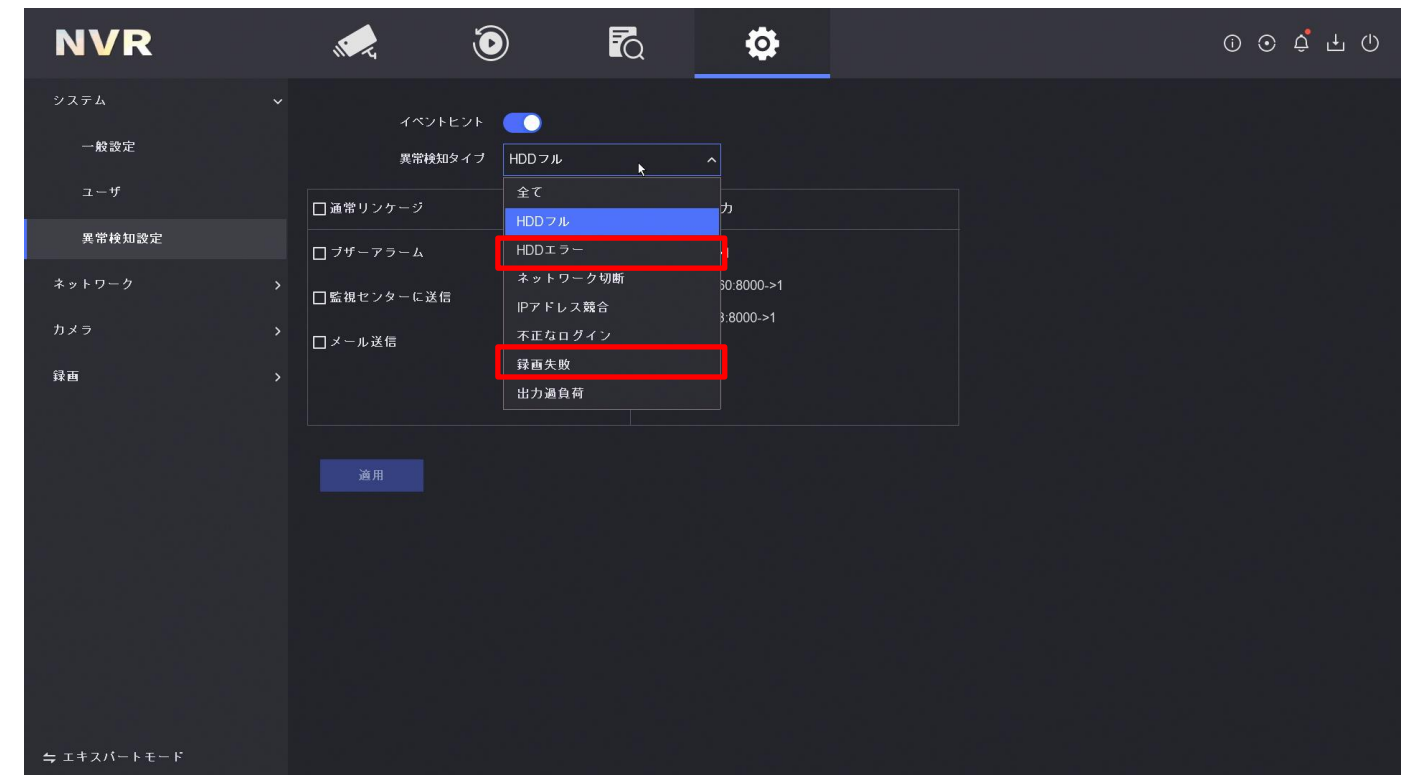
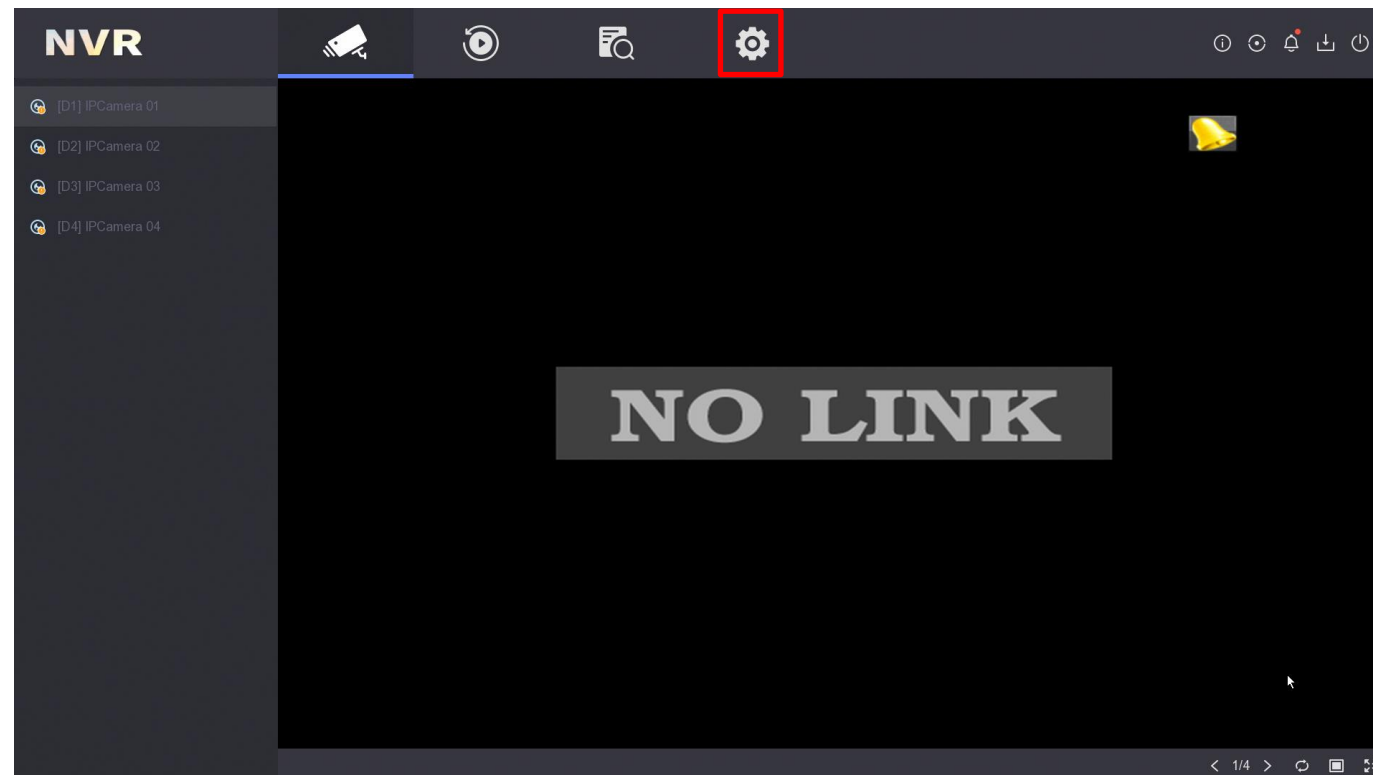
- 1.HDD設定画面へ移動後、接続されているHDDが表示されます。
ステータスが[未フォーマット]の場合、チェックボックスに
チェックを入れて[初期化]を左クリックします。
- 2.初期化アナウンスが表示されますので[はい]を左クリックします。
- 3.初期化後ステータスが「読み書き」になれば初期化完了です。
※未初期化のHDD搭載時、下図の表示があります。



HDD非搭載レコーダーの警告音の消し方について

HDD非搭載のレコーダはHDDの認識ができずレコーダーから警告音が鳴っています。
この場合はレコーダーの設定で警告音を消すことができます。

- 1.レコーダーのライブビュー画面で左クリックし、上部ツールバーからシステムにアクセスします。
※システムにアクセスする際にレコーダーのパスワードを要求される場合があります。
- 2.システム>異常検知設定にアクセスし、異常検知タイプを左クリックしてドロップダウンリストから[HDDエラー]を選択し、ブザーアラームのチェックボックスからチェックを外します。
- 3.再度異常検知タイプをクリックして[録画失敗]を選択し、ブザーアラームのチェックを外します。
- 4.最後に適用をクリックして設定を保存します。



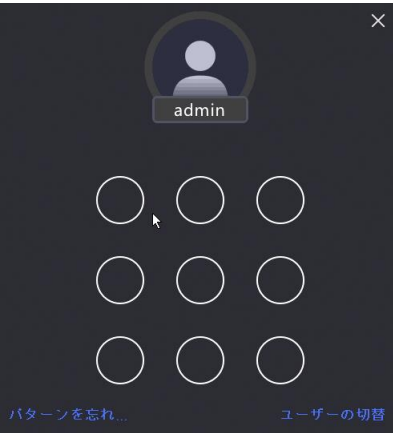
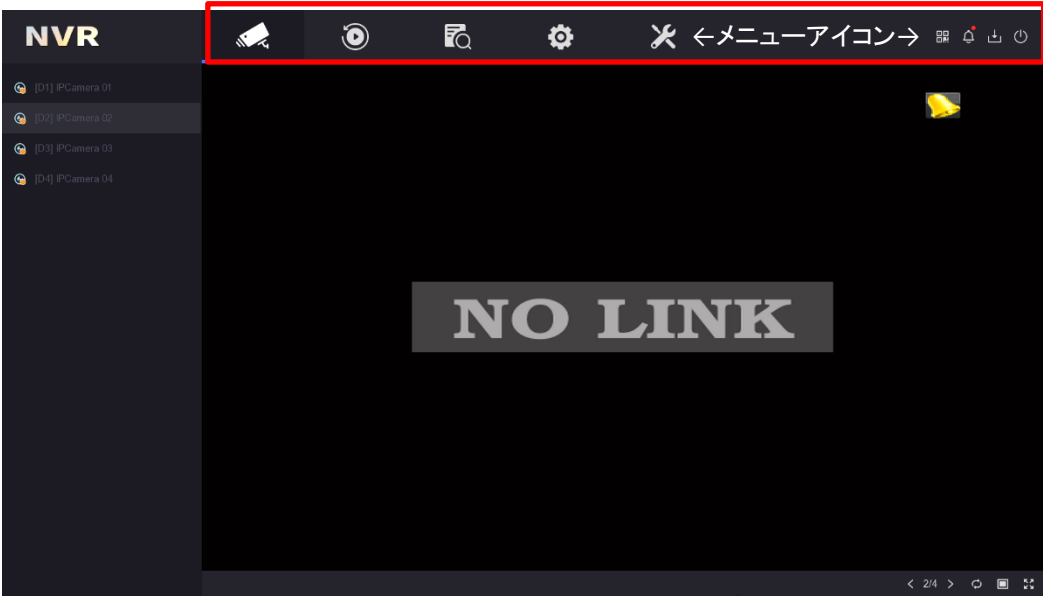
3.

メニューの表示

メニューの表示

メニューへのアクセス手順

メニュー画面を表示させて再生やレコーダーの設定画面へアクセスすることが可能です。
ライブビュー画面にて左クリックし、メニューを表示します。
左クリック後、レコーダーのパスワード入力を要求されます場合があります。
パスワードの要求があった場合はセットアップ時に設定したパスワードを使用して解除します。
パスワード入力後はライブビュー上部にメニューが表示されます。



パスワード・解除パターンを入力画面

アイコン	説明	アイコン	説明
	ライブビュー		Hik-Connect用QRコード
	録画再生		アラーム・イベント情報
	録画検索・録画データ書出し		最新ファームウェアの確認
	システム設定		ログアウト・再起動・電源OFF
	デバイス情報の確認(型番・シリアル・ファームウェア等)・リセット・ログ検索		

4.

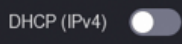
ネットワーク設定

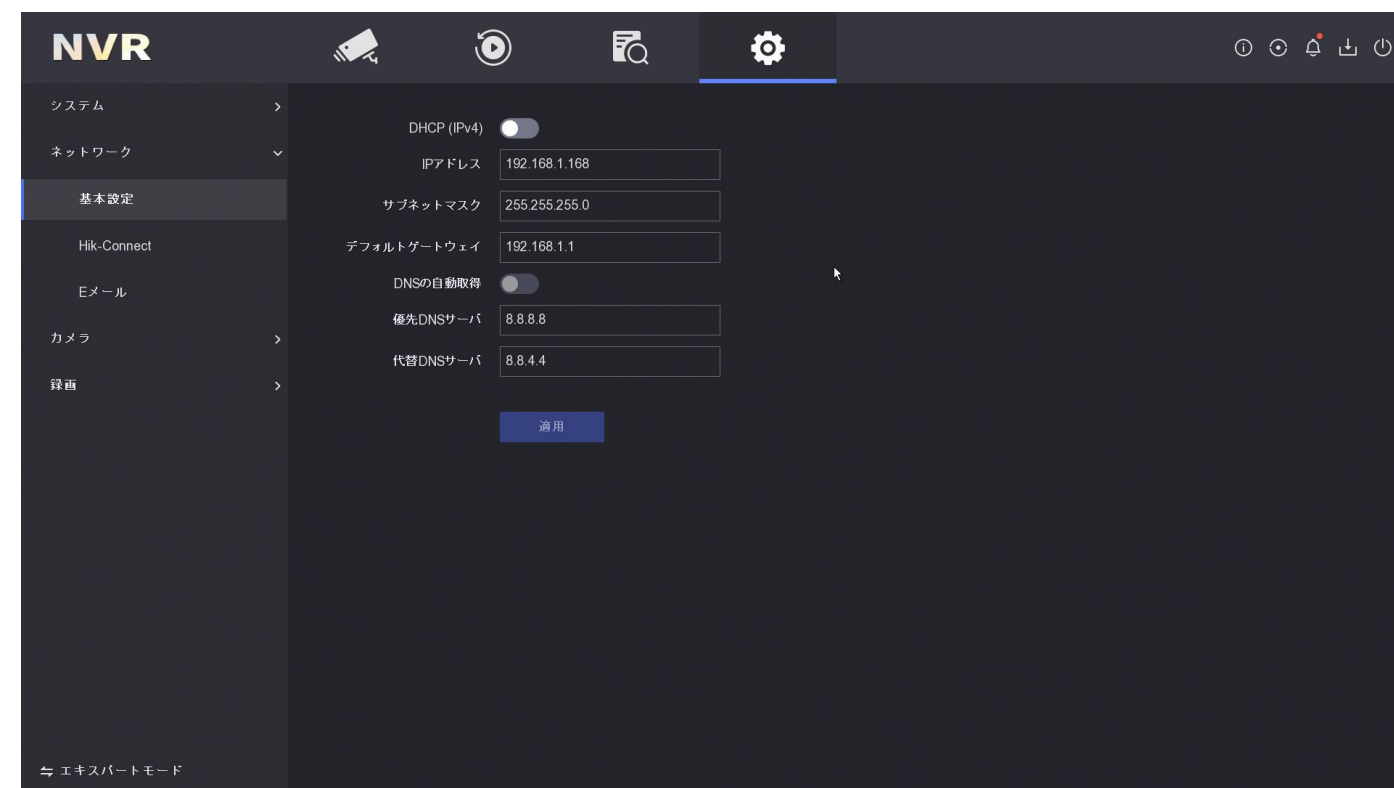
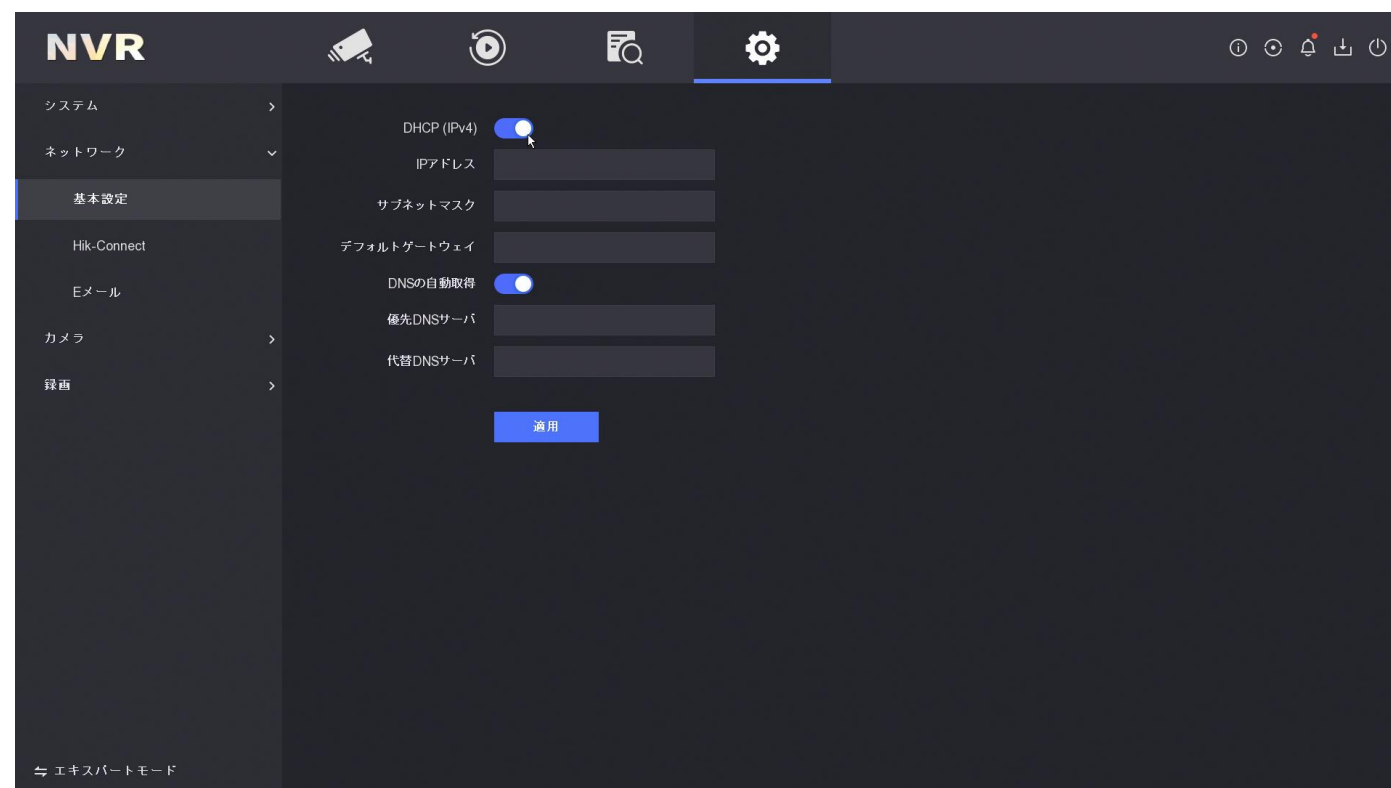
IPアドレス変更

レコーダー本体のネットワーク設定を行います。

IPカメラをIP登録する場合やHik-Connectサービスを利用する時に必要な設定となります。

※プラグアンドプレイでの運用、グローバルネットワークを必要としない場合、この設定をスキップしても問題ありません。

- 1.メニューから  を左クリックしてシステム>ネットワーク>基本設定にアクセスします。
- 2.IPアドレスを固定する場合は、 DHCPを無効に、自動取得する場合は  DHPを有効に切り替えます。
- 3.[適用]を左クリックして設定を保存します。



5.

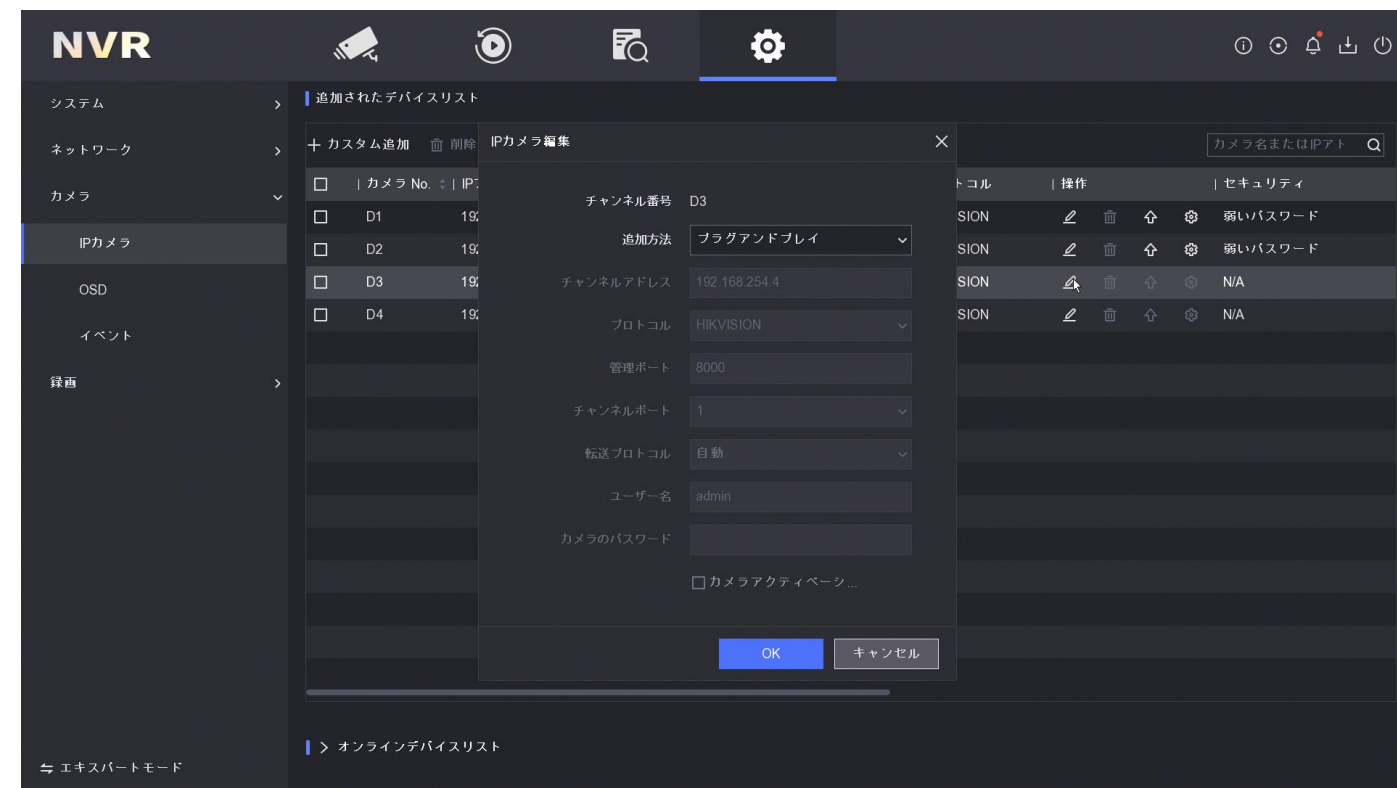
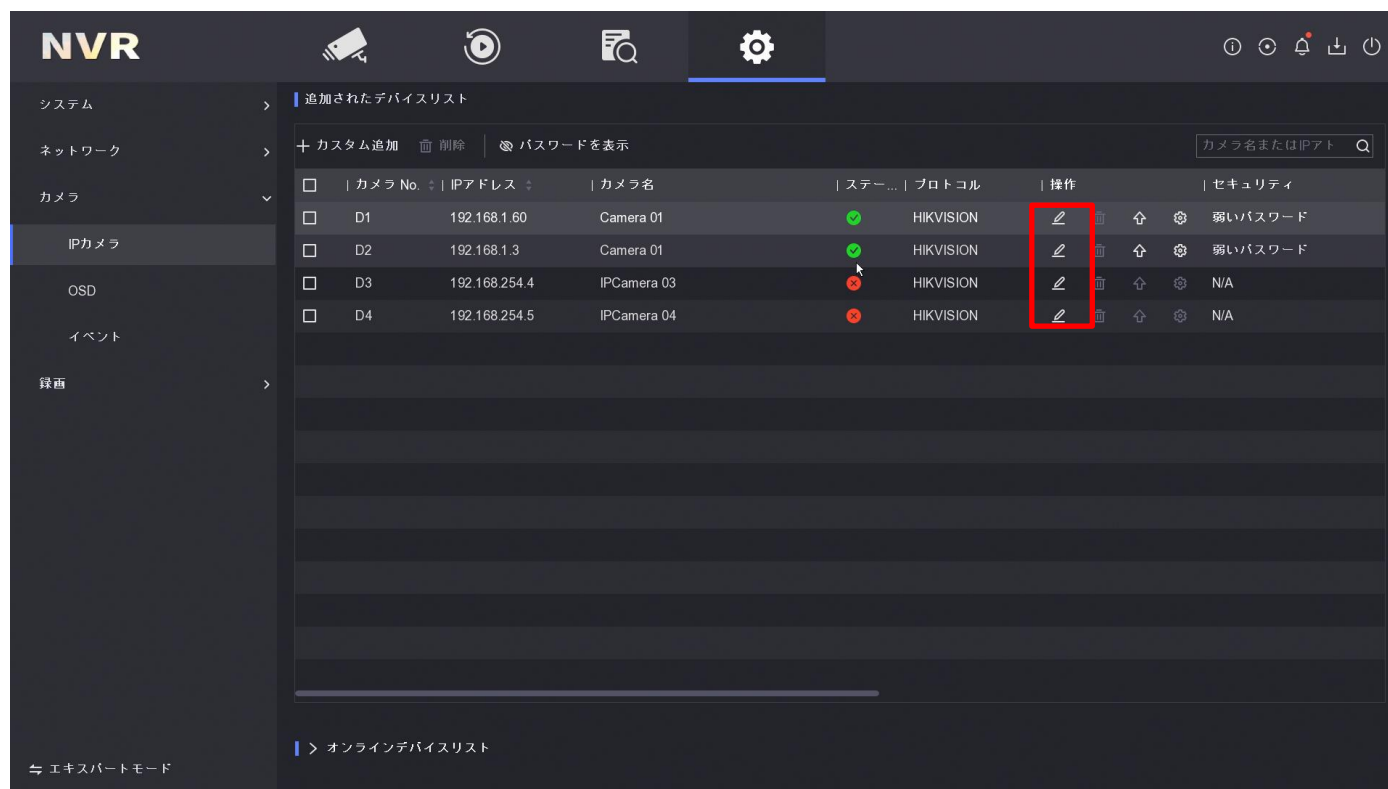
IPカメラ登録

プラグアンドプレイ

レコーダー本体にIPカメラをプラグアンドプレイで接続します。

※初期設定では、登録方式がプラグアンドプレイで設定されており、カメラをレコーダーに接続すれば映像が映るようになっています。

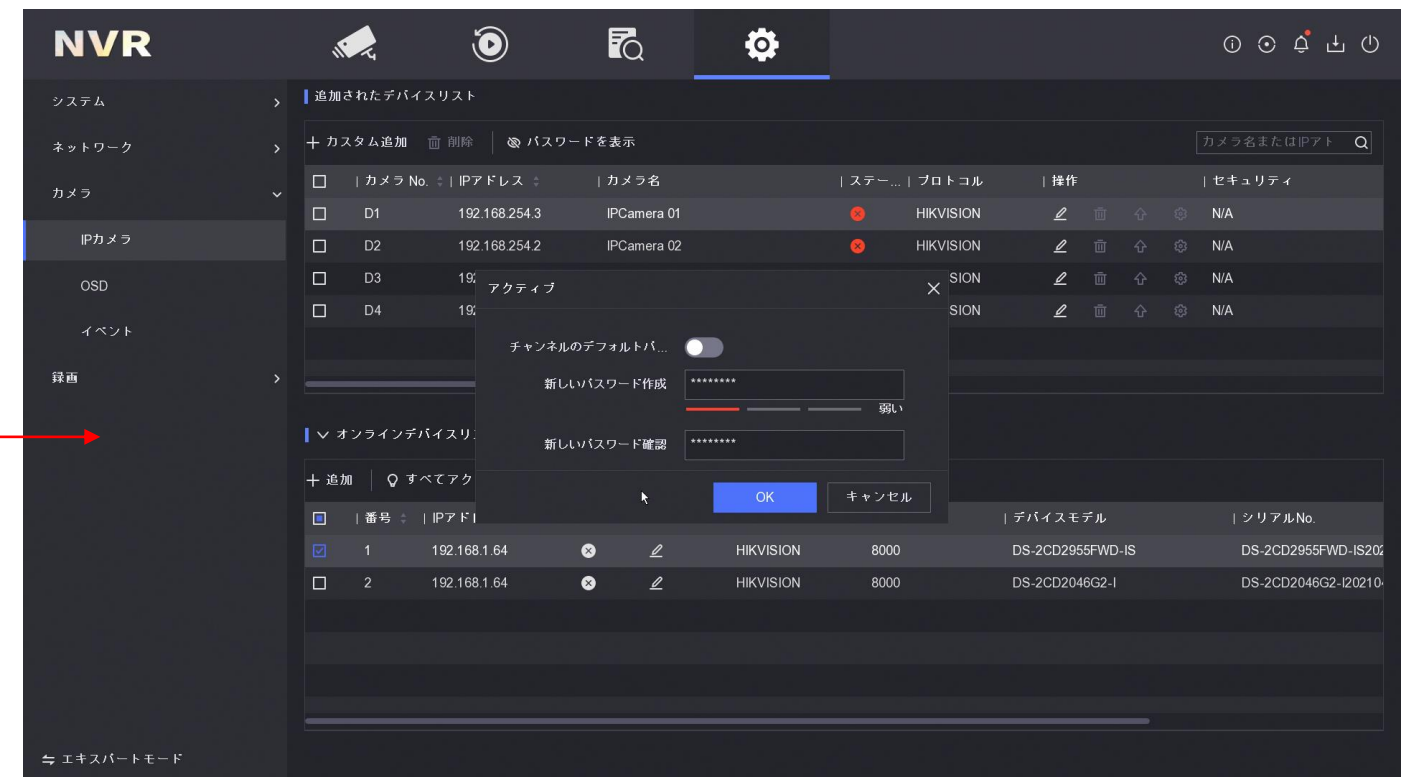
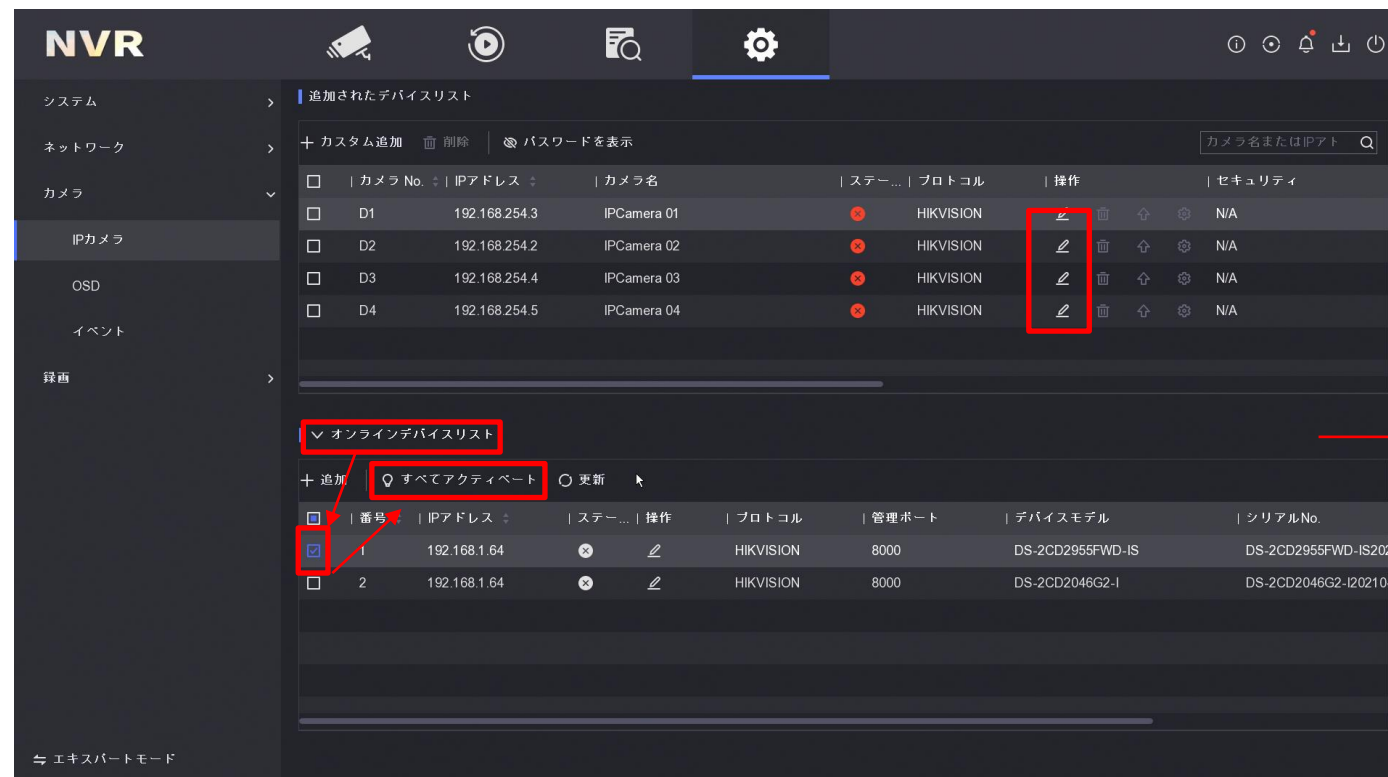
- 1.メニューから  を左クリックしてシステム>カメラ>IPカメラにアクセスします。
- 2.カメラのD1~D4のいずれかの  [編集]を左クリックしてカメラの登録情報を編集します。
- 3.[追加方法]をプラグアンドプレイに設定し[OK]をクリックして設定を保存します。
- 4.ステータスが  から  に変われば登録完了です。



IP登録

レコーダー本体にIPカメラのIPアドレスを登録して接続します。

- 1.メニューから  を左クリックしてシステム>カメラ>IPカメラにアクセスします。
- 2.オンラインデバイスリストを左クリックしてIPカメラ一覧を表示し、IPカメラのIPアドレスを確認します。
- 3.カメラのステータスが  となっている場合はカメラのパスワードを設定する必要があります。
- 4.パスワードを設定する場合は、カメラのチェックボックスにチェックを入れて[すべてアクティベート]を左クリックします。
- 5.レコーダーのパスワードを反映させる場合は[チャンネルのデフォルトパ...]を有効にします。
任意のパスワードに設定する場合は、パスワードを2箇所入力し[OK]を左クリックして設定を保存します。
- 6.カメラのステータスが  から  に変われば設定完了です。



IP登録

7.複数台のIPカメラが存在している場合、IPカメラ同士でIPアドレスが競合した状態になります。

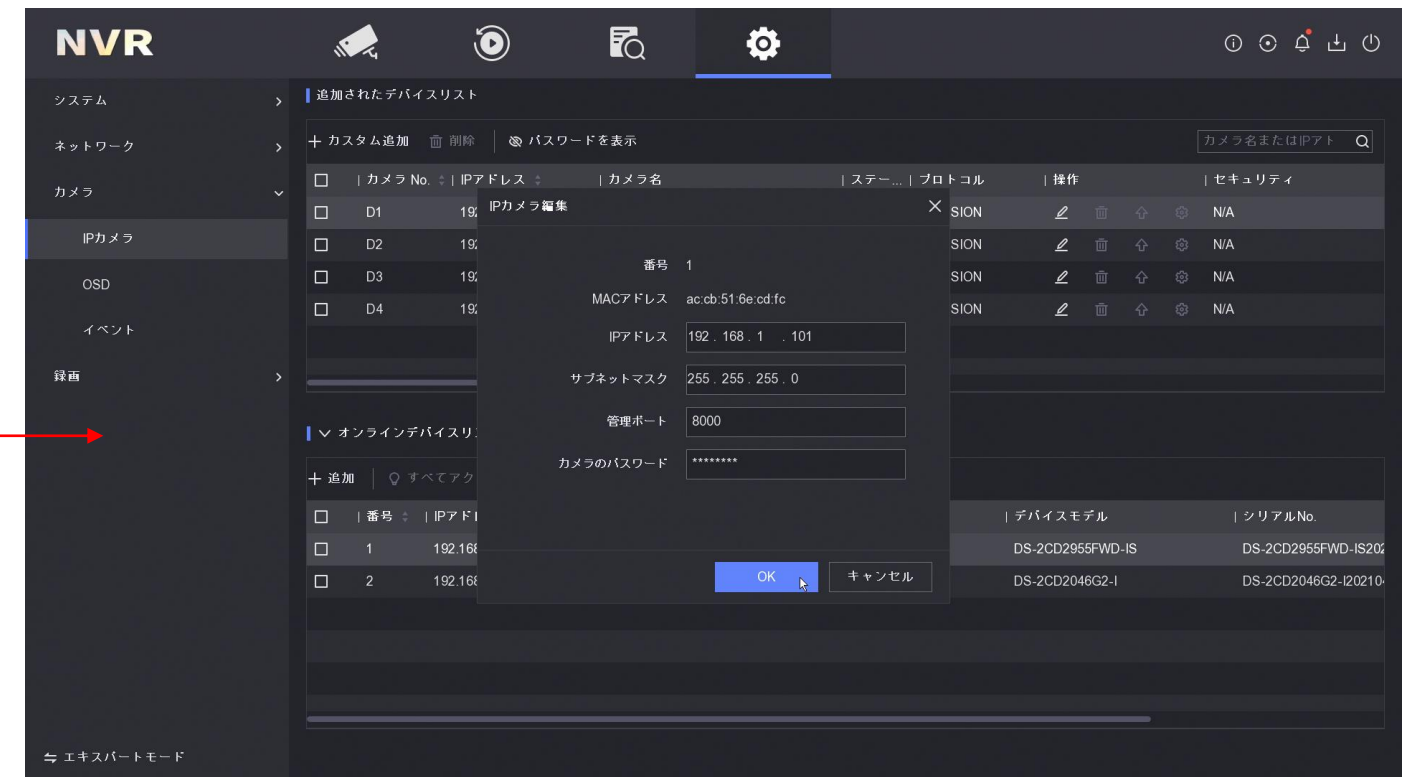
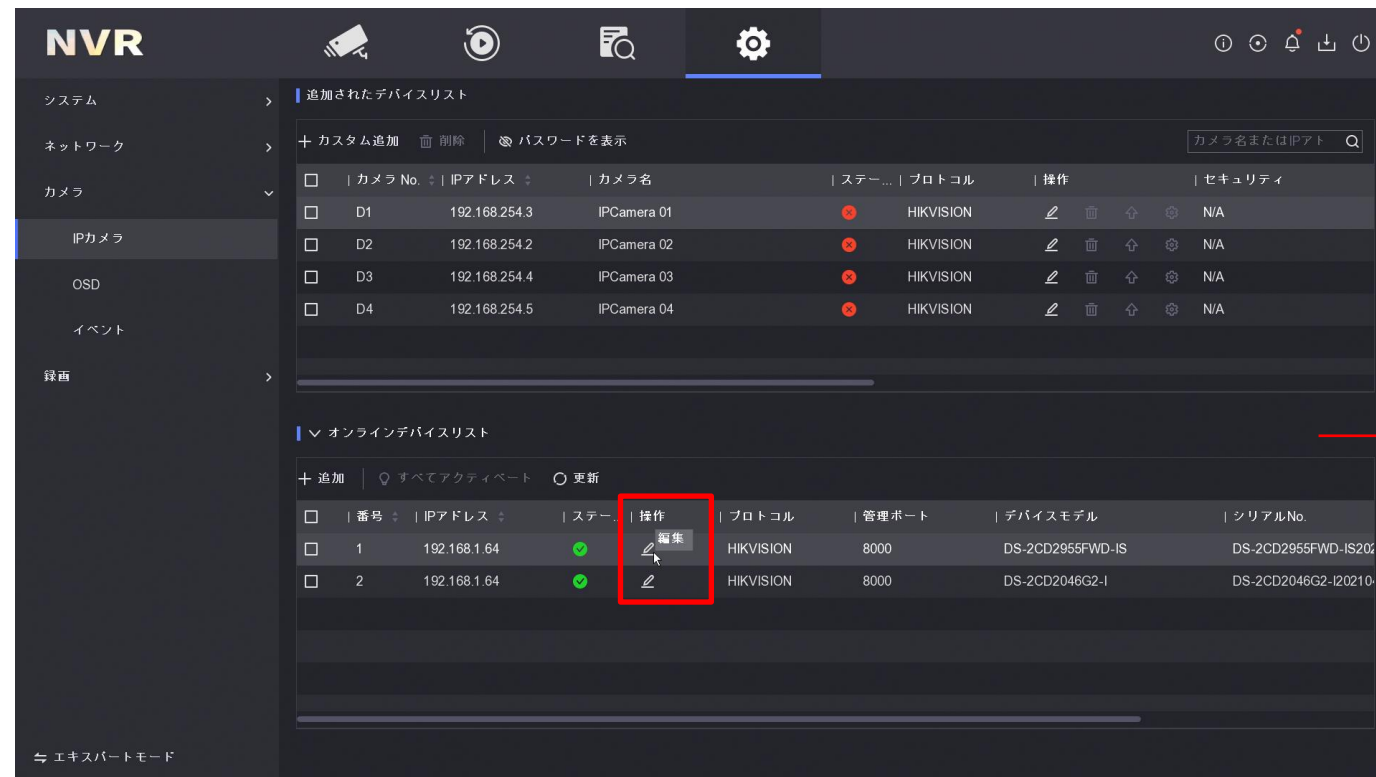
そこでIPカメラのIPアドレスを変更します。オンラインデバイスリストからを左クリックして編集画面へアクセスします。

8.IPカメラ編集画面から[IPアドレス]にてIPアドレスを任意のアドレスに変更します。

9.[カメラのパスワード]にカメラのパスワードを入力して、最後に[OK]を左クリックして設定を保存します。

10.オンラインデバイスリストからIPアドレスは変更されているか確認してください。

※オンラインデバイスリストの[追加]からIPカメラの追加を行うことはできません。



IP登録

11.D1~D4のをクリックしてカメラの編集画面へアクセスします。

12.[チャンネルアドレス]にIPカメラのIPアドレスを入力します。

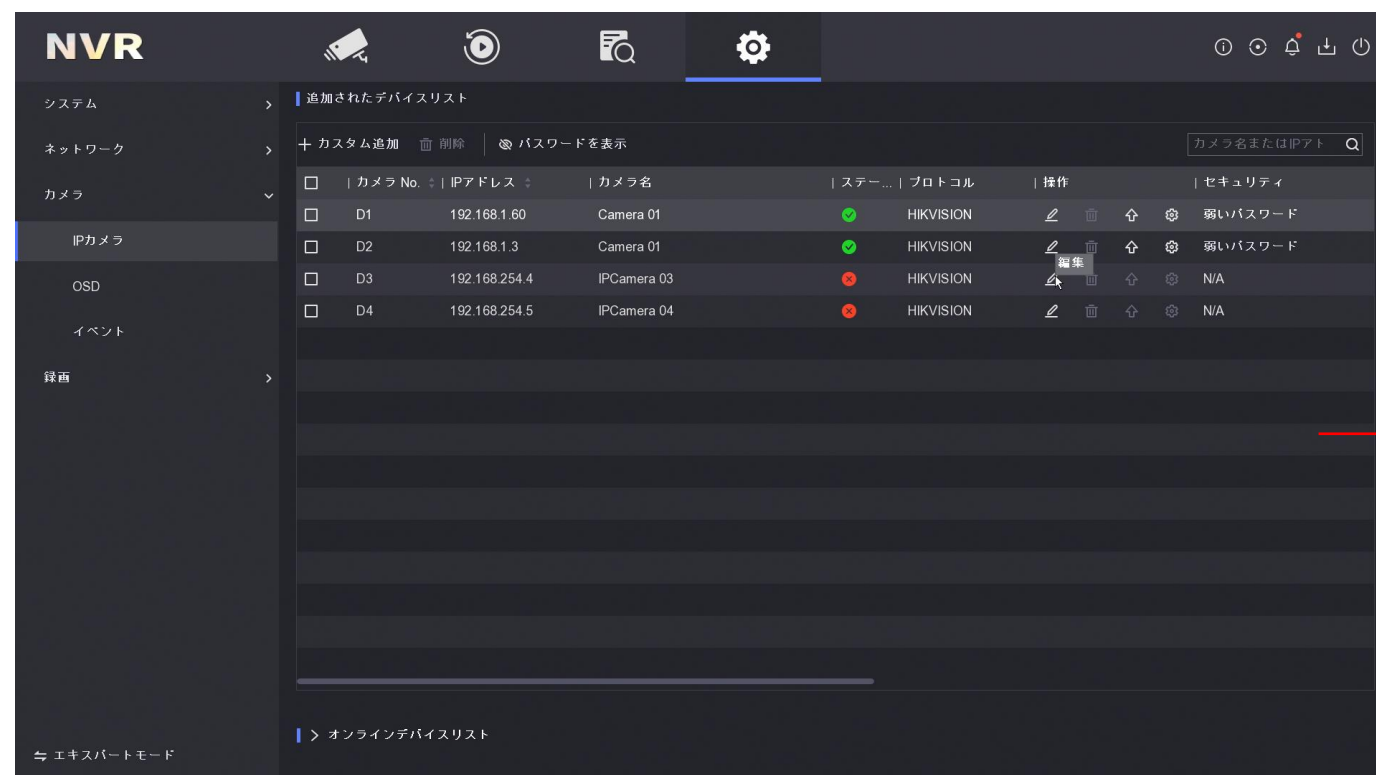
13.[カメラのパスワード]にIPカメラのパスワードを入力します。

[カメラアクティベーション...]にチェックを入れて、レコーダーのパスワードを反映することも可能です。

14.ステータスがからに変われば登録完了です。

※[カスタム追加]からIPカメラを追加することはできません。

※[削除]からIPカメラの登録を削除することはできません。



6.

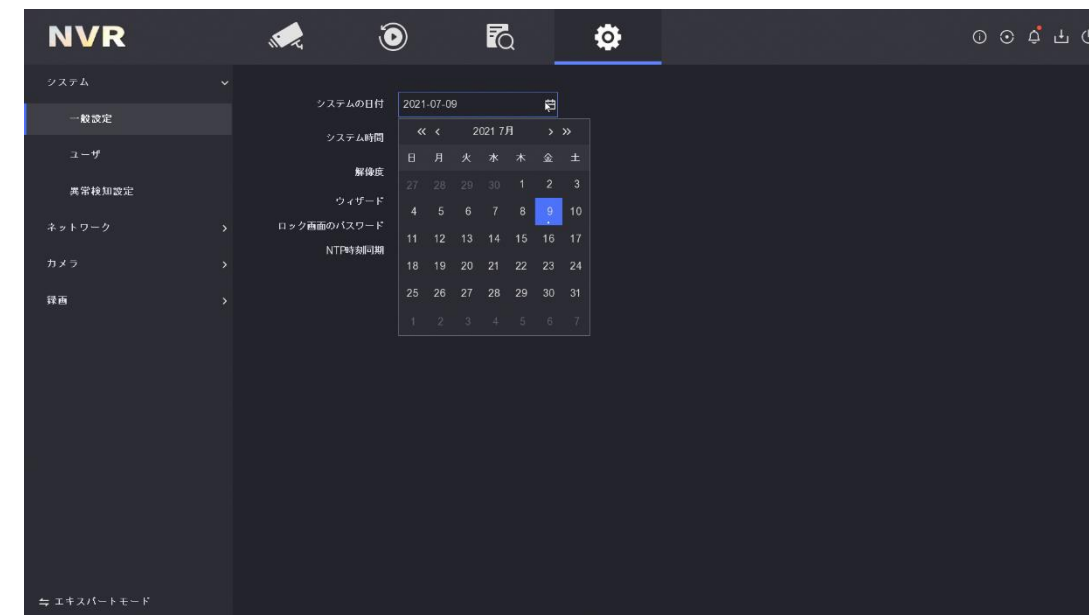
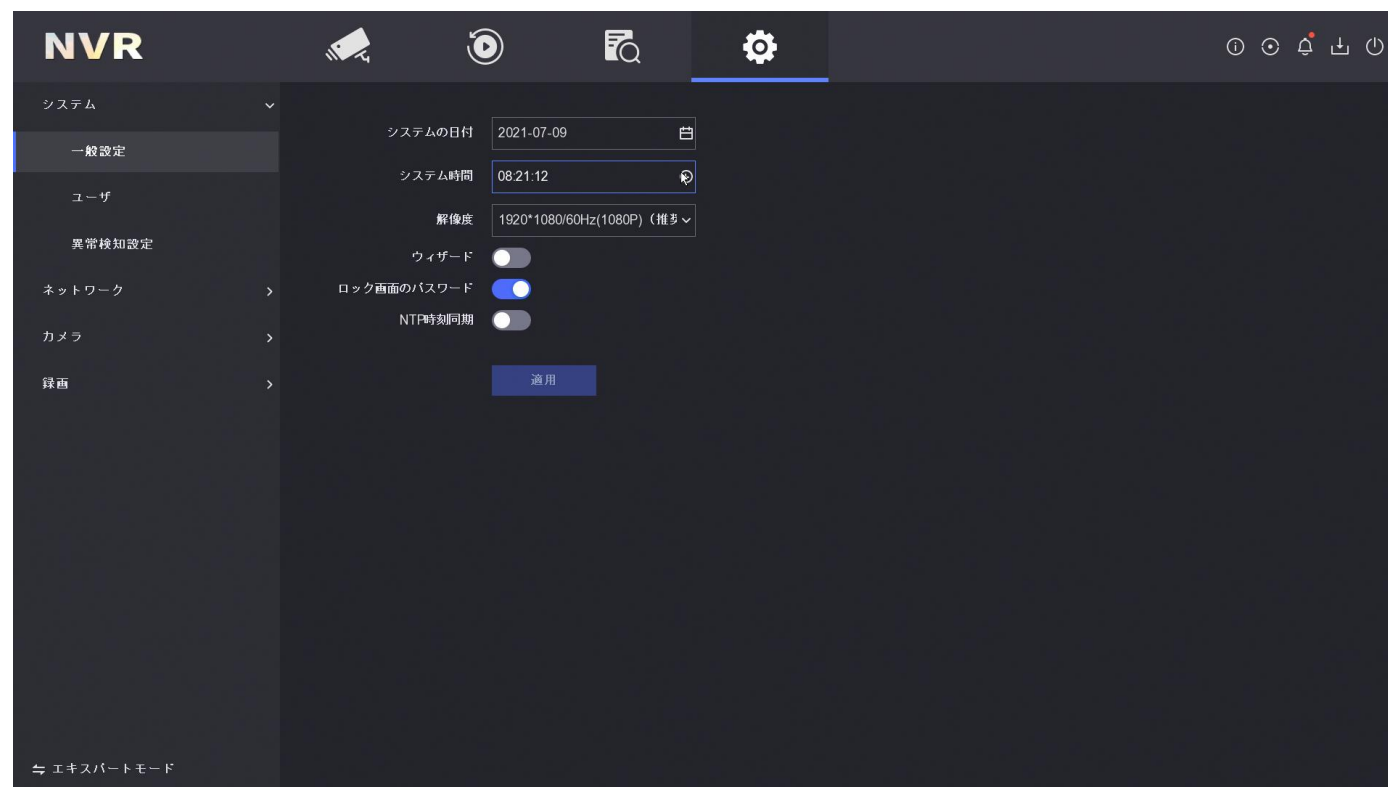
時刻設定

日付・時間設定

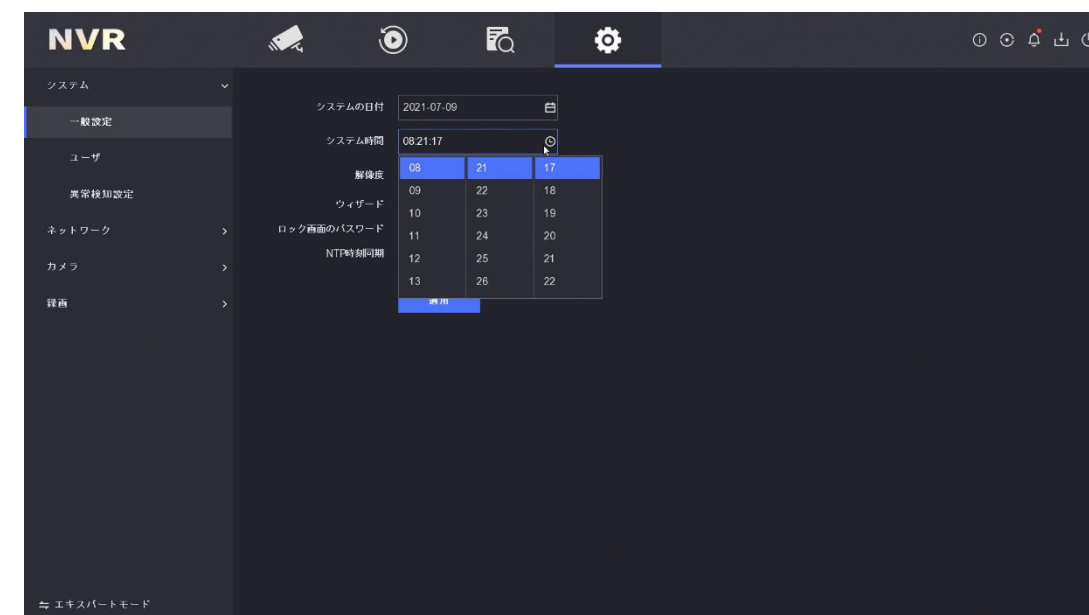
レコーダーの日付・時間を設定します。

日付・時間は録画する映像に影響しますので正しく設定してください。

- 1.メニューから  を左クリックしてシステム>一般設定にアクセスします。
- 2.[システム日付]を左クリックして年月日をカレンダーから設定します。
- 3.[システム時間]を左クリックして時間の設定をします。



日付の変更設定



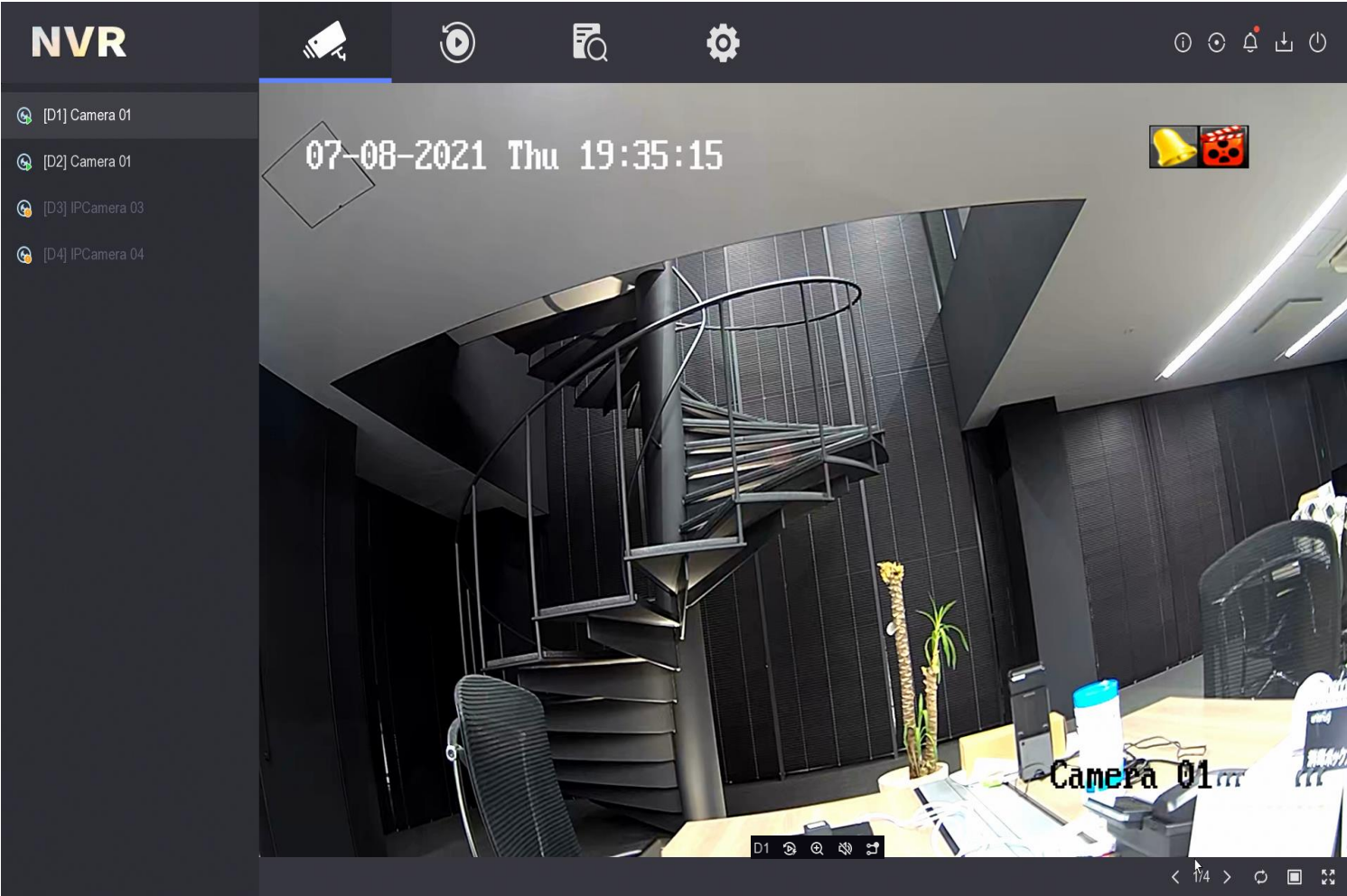
時間変更設定

7.

ライブビュー

ライブビューアイコンの説明

各アイコンは表にて説明します。
※ライブビュー下部のツールバーはライブビュー上で左クリックすると表示されます。

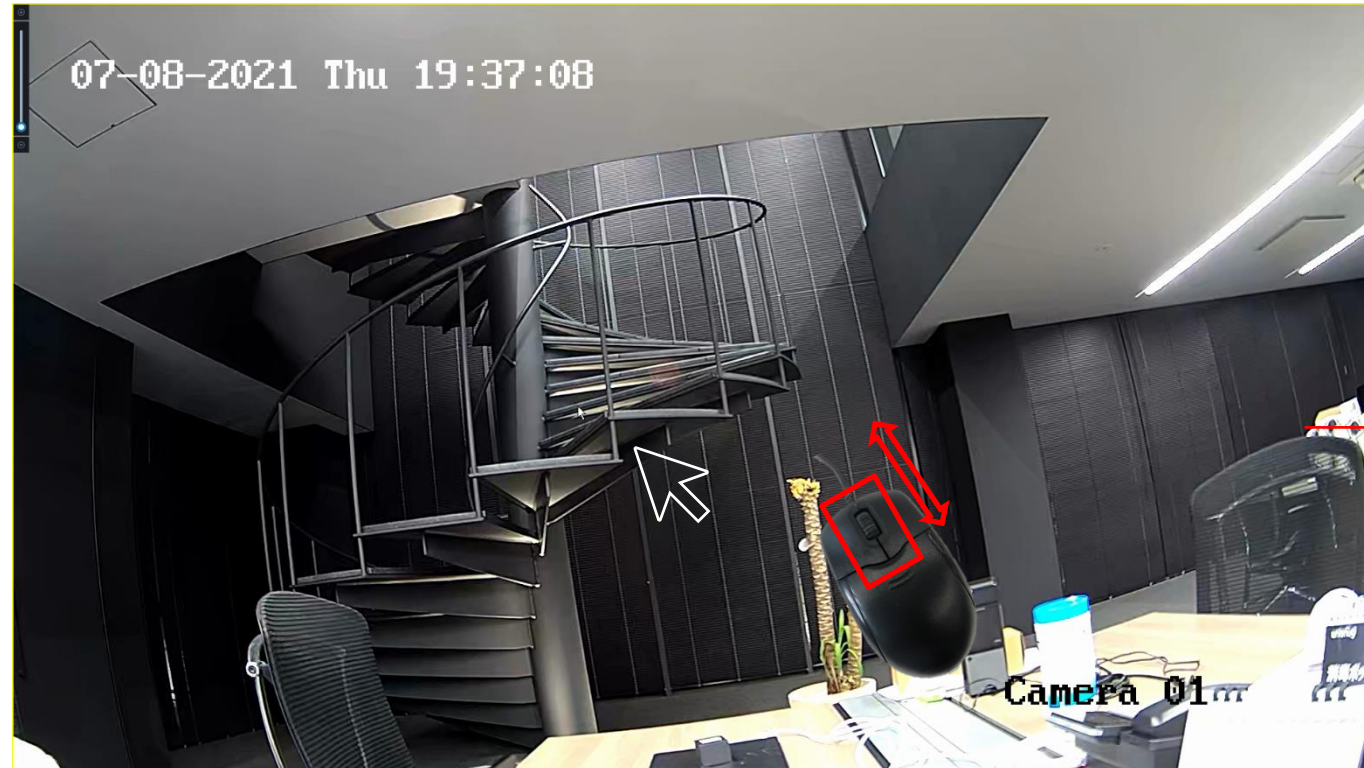


アイコン	説明
	イベント発生時にアイコンが表示されます(通常イベントとスマートイベント)
	録画中アイコン※アイコンを非表示にするにはできません。
	最新の5分以内に録画した動画の再生を開始します。
	デジタルズームを開始します。(映像の拡大)
	PTZ(パン・チルト・ズーム)を開始します。
	音声の有効/無効の切り替えを行います。
	メイン/サブストリームの切り替えを行います。
	前のページ・次のページ カメラの映像切り替えを行います。
	カメラ映像の自動切り替え開始・停止をします。
	画面分割の切り替えを行います。
	フルスクリーンの開始・終了を行います。

デジタルズーム

デジタルズームにより映像を拡大して見ることができます。

1. ライブビュー下部のツールバーから🔍を左クリックしてデジタルズームを開始します。
2. 拡大を行う箇所にマウスカーソルを合わせて、マウスホイールを動かしてズームを行います。
3. デジタルズームを終了する場合は右クリックして終了してください。

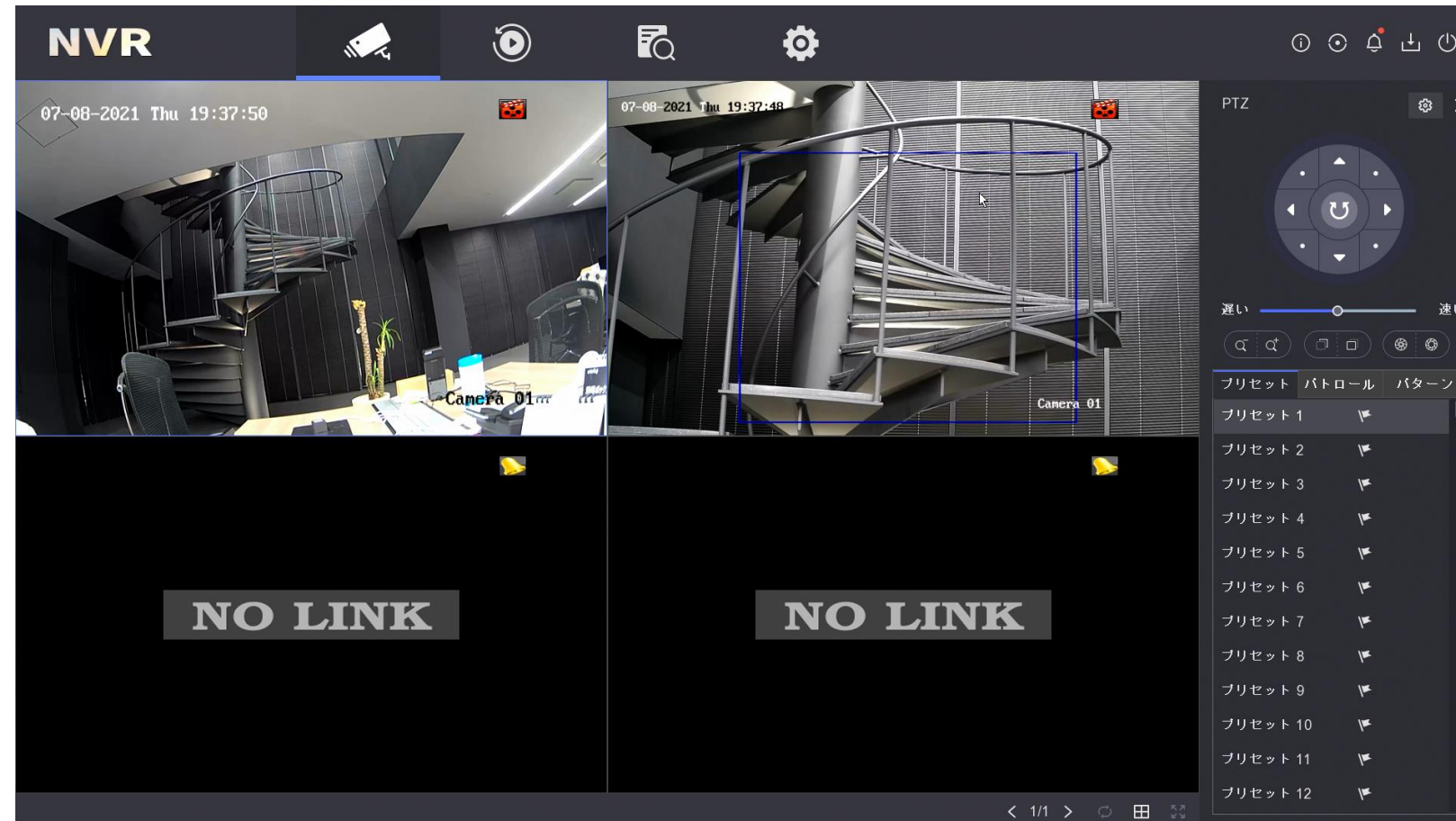


PTZコントロール

カメラにてパン・チルト・ズームを行います。

※パン・チルト・ズームそれぞれはカメラで機能に対応している必要があります。

1. ライブビュー下部のツールバーから  を左クリックしてPTZコントロールを開始します。
2. パン・チルトを行う場合は  方向ボタンを左クリックして操作を実行します。
ズームを行う場合は  /  ズームイン・ズームアウトを左クリックして操作を実行します。
フォーカスは  /  をクリックして調整を行います。



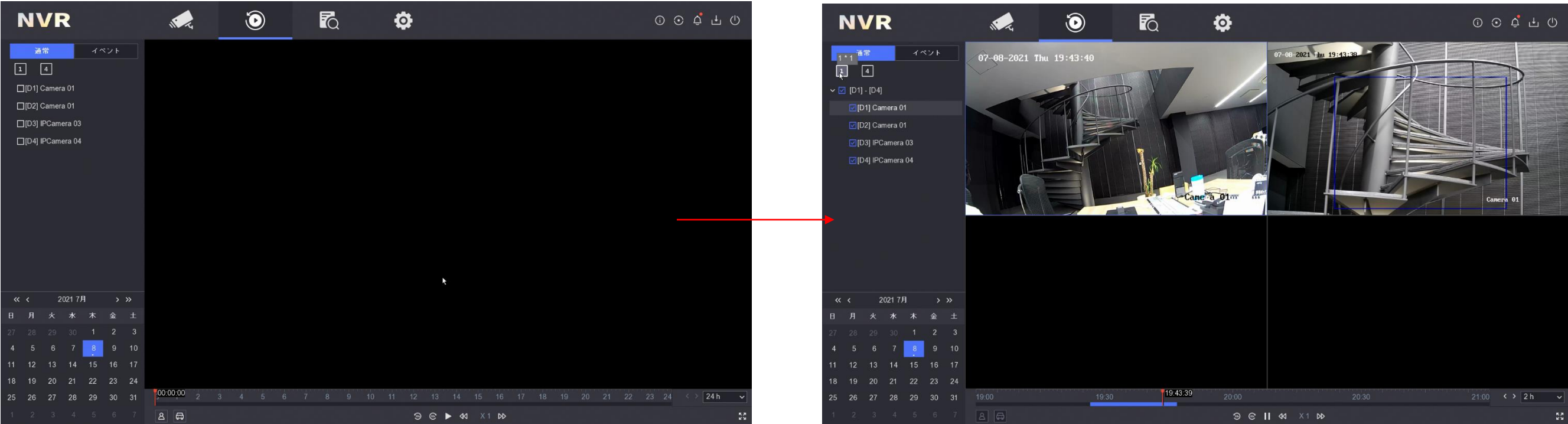
8.

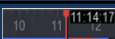
録画再生

再生開始

HDDに記録された録画映像を再生します。
※再生を行うにはレコーダーにHDDが搭載されている必要があります。

- 1.メニューから  を左クリックして再生にアクセスます。
- 2.左のカメラリストから再生を行うカメラのチェックボックスにチェックを入れて再生を開始します。
- 3.日付を指定する場合は、左下にあるカレンダーから日付を選択し、ダブルクリックで再生を開始します。

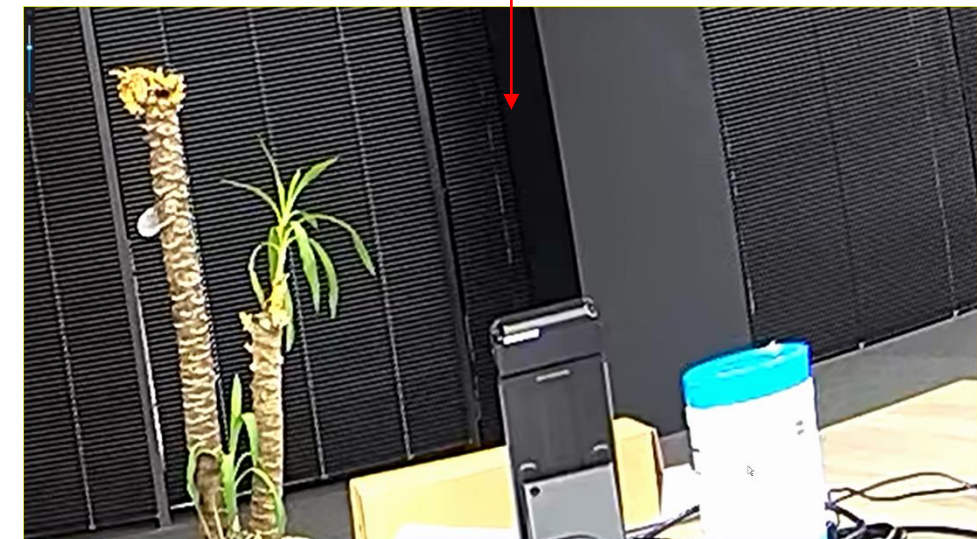
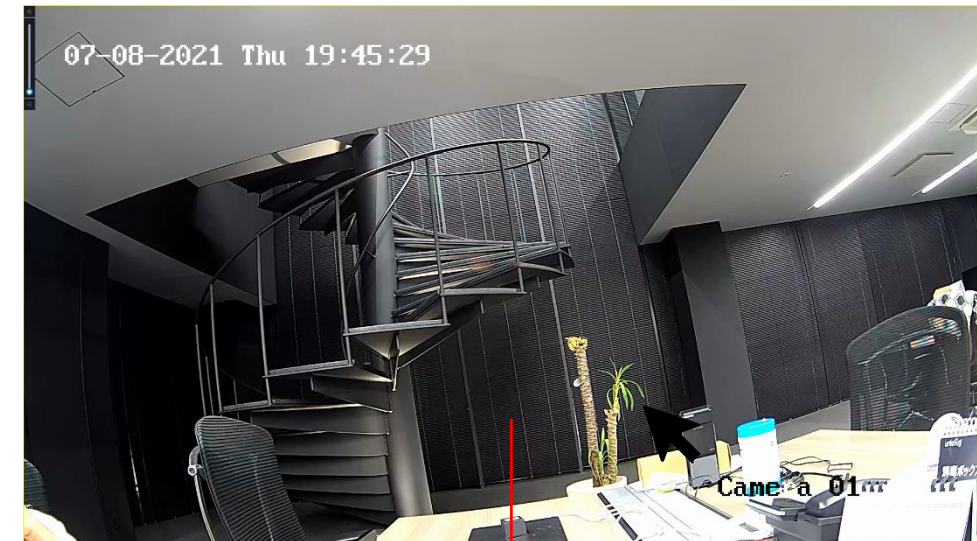
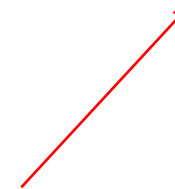
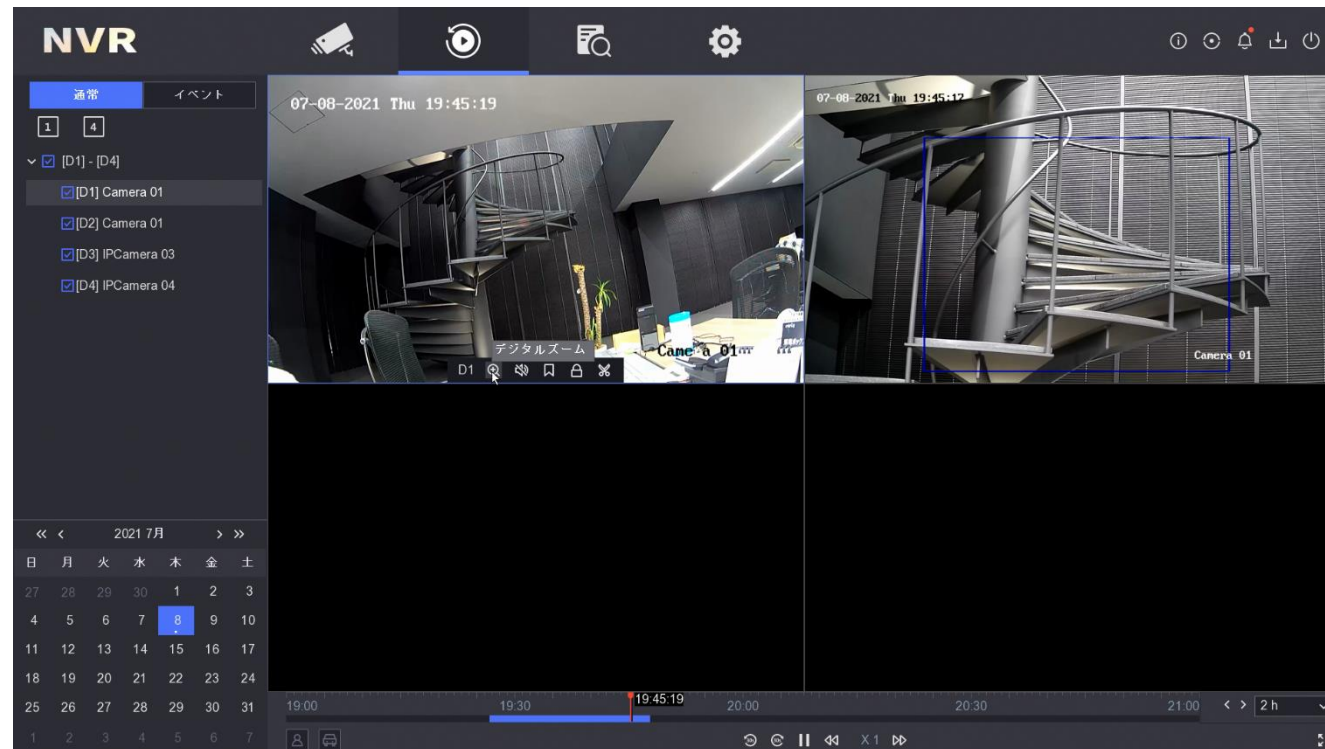


ボタン	操作	ボタン	操作
	30秒前へ戻る		スロー再生
	30秒後に進む		現在の再生速度
	再生の開始		倍速再生
	青色のバーは記録映像。赤色のバーはイベント映像		

デジタルズーム

デジタルズームにより映像を拡大して見ることができます。

- 1.再生画面下部のツールバーからを左クリックしてデジタルズームを開始します。
- 2.拡大を行う箇所にマウスカーソルを合わせて、マウスホイールを動かしてズームを行います。
- 3.デジタルズームを終了する場合は右クリックして終了してください。

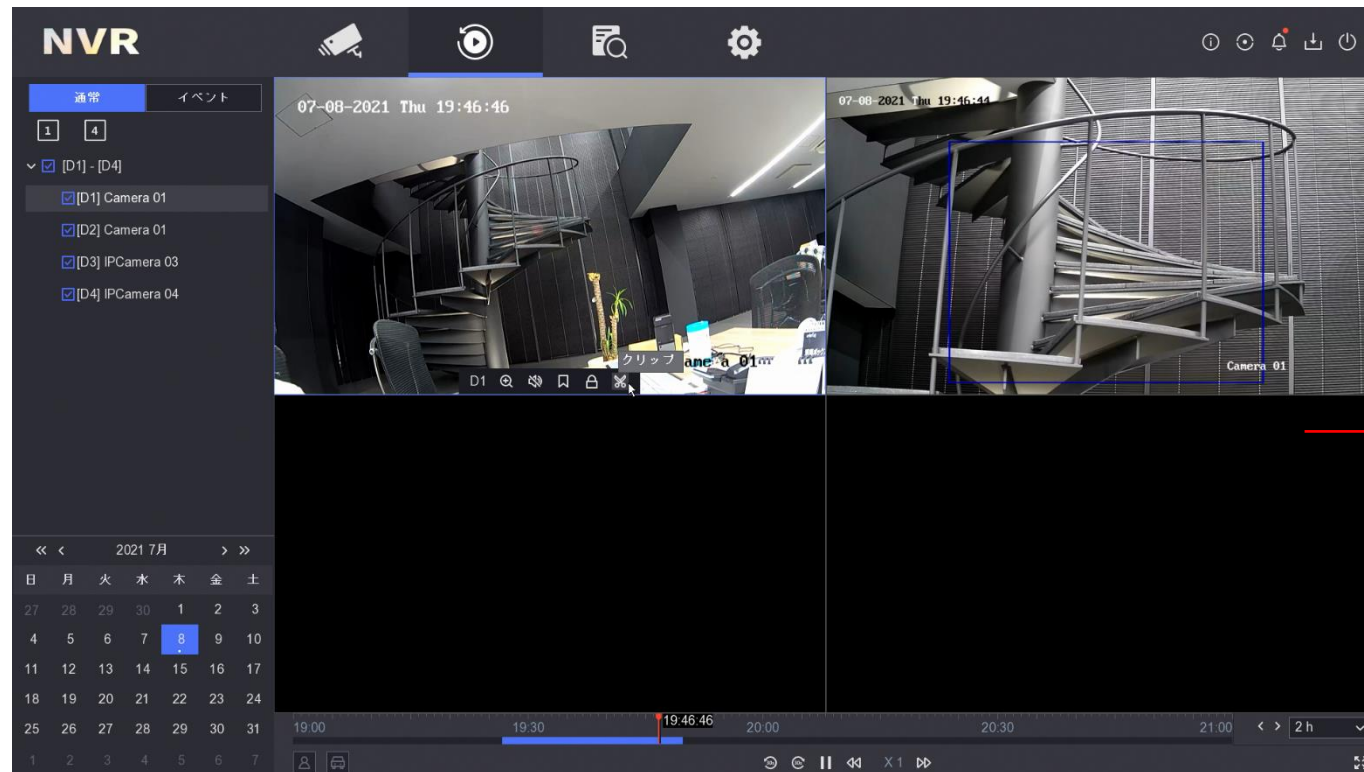


9. 録画映像のバックアップ

バックアップ手順1(クリップ編)

録画した映像を、再生画面からそのままUSBメモリーへバックアップを行います。

- 1.レコーダーのUSBポートにUSBメモリーを差し込みます。(USBポートはレコーダーの全面、背面にそれぞれ1つずつあります。)
- 2.メニューから  を左クリックして再生にアクセスします。
- 3.再生画面下部のツールバーから  を左クリックしてクリップを開始します。
4. [開始時間]と[終了時間]を左クリックして、バックアップする映像の時間を指定します。
- 5.時間の指定後、[保存]をクリックします。



バックアップ手順1(クリップ編)

4.[映像とログ]を選択して[OK]を左クリックしてください。

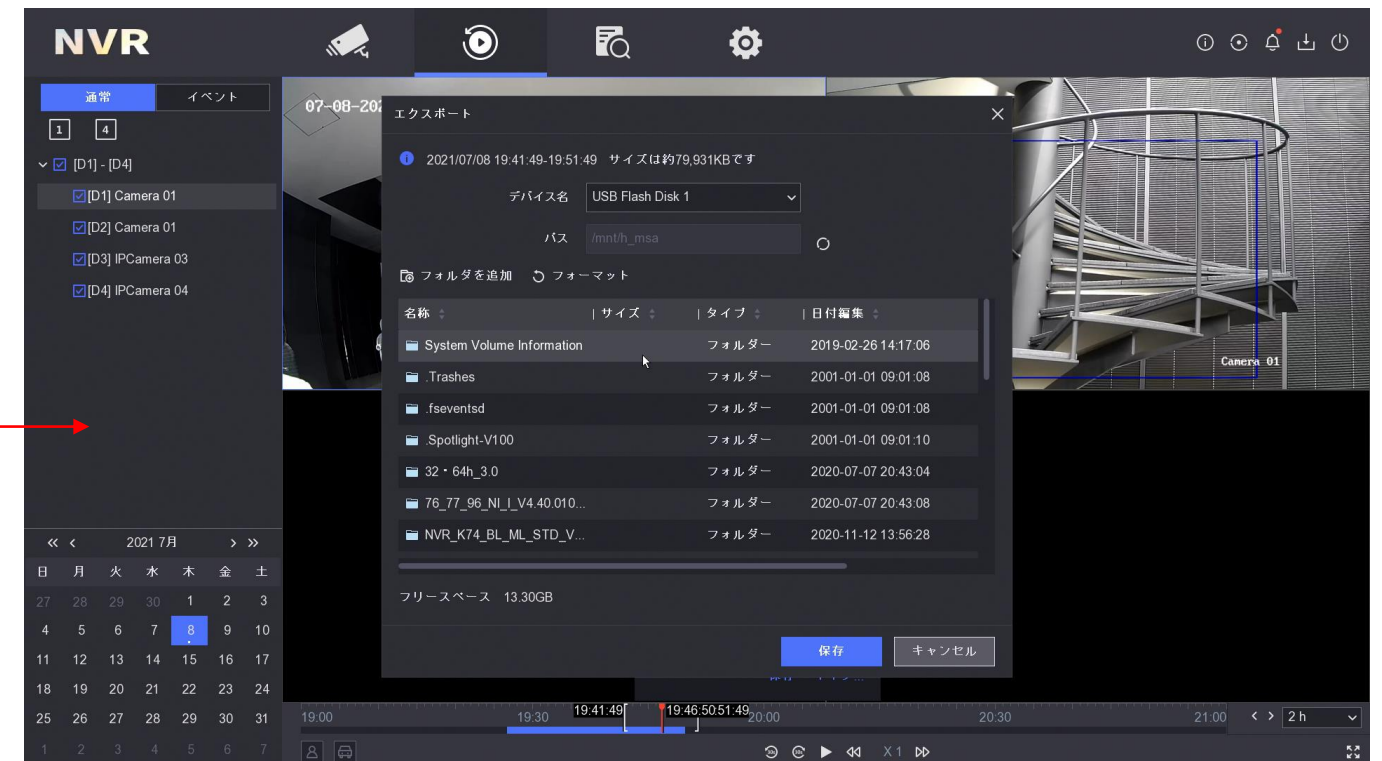
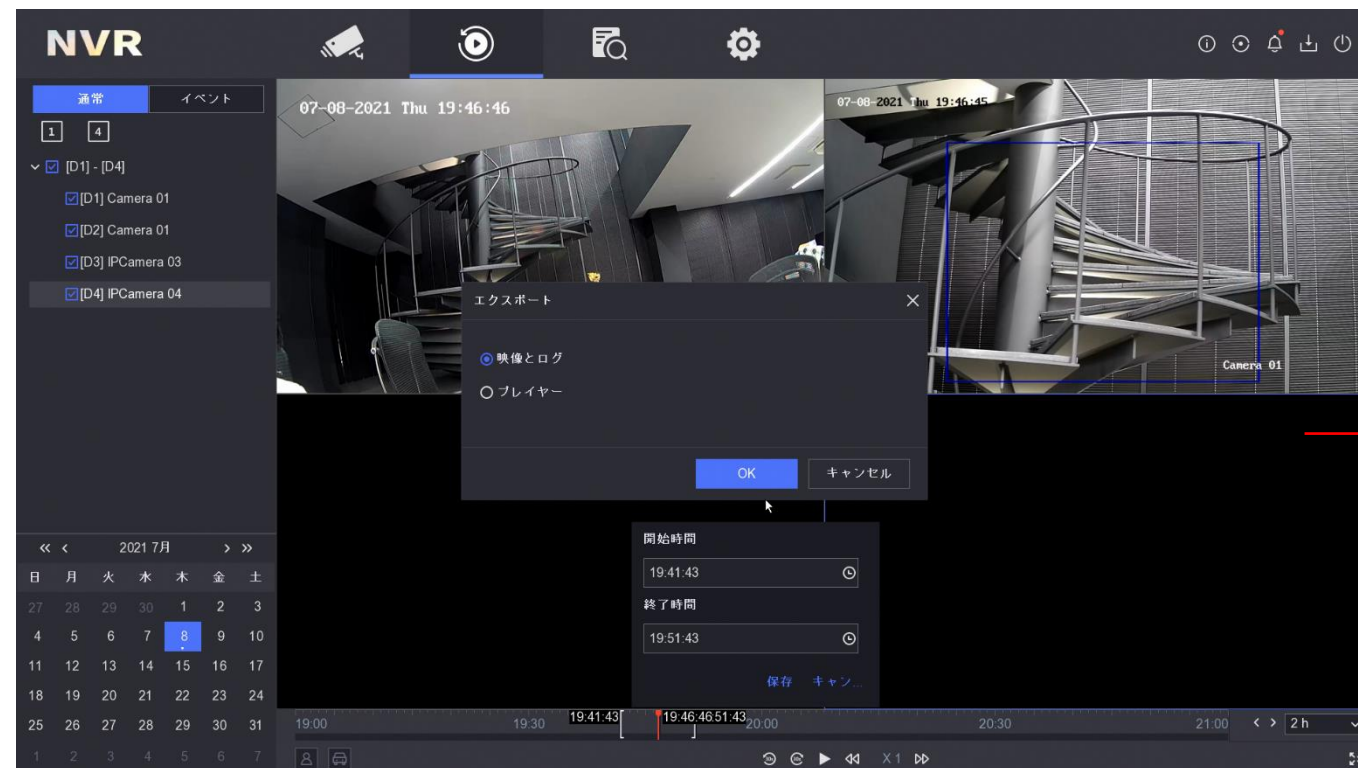
5.エクスポート画面からUSBメモリーの保存先を指定します。

USBメモリー内に新しくフォルダを作成する場合は、[フォルダを追加]を左クリックして追加します。

6.[保存]を左クリック録画映像をUSBメモリーへ保存します。

※録画映像のバックアップが上手くいかない場合は、USBのフォーマット、レコーダーの再起動、USBメモリーの変更をしてください。

※USBメモリーのフォーマットはUSBメモリー内のデータが全て削除されますのでご注意ください。

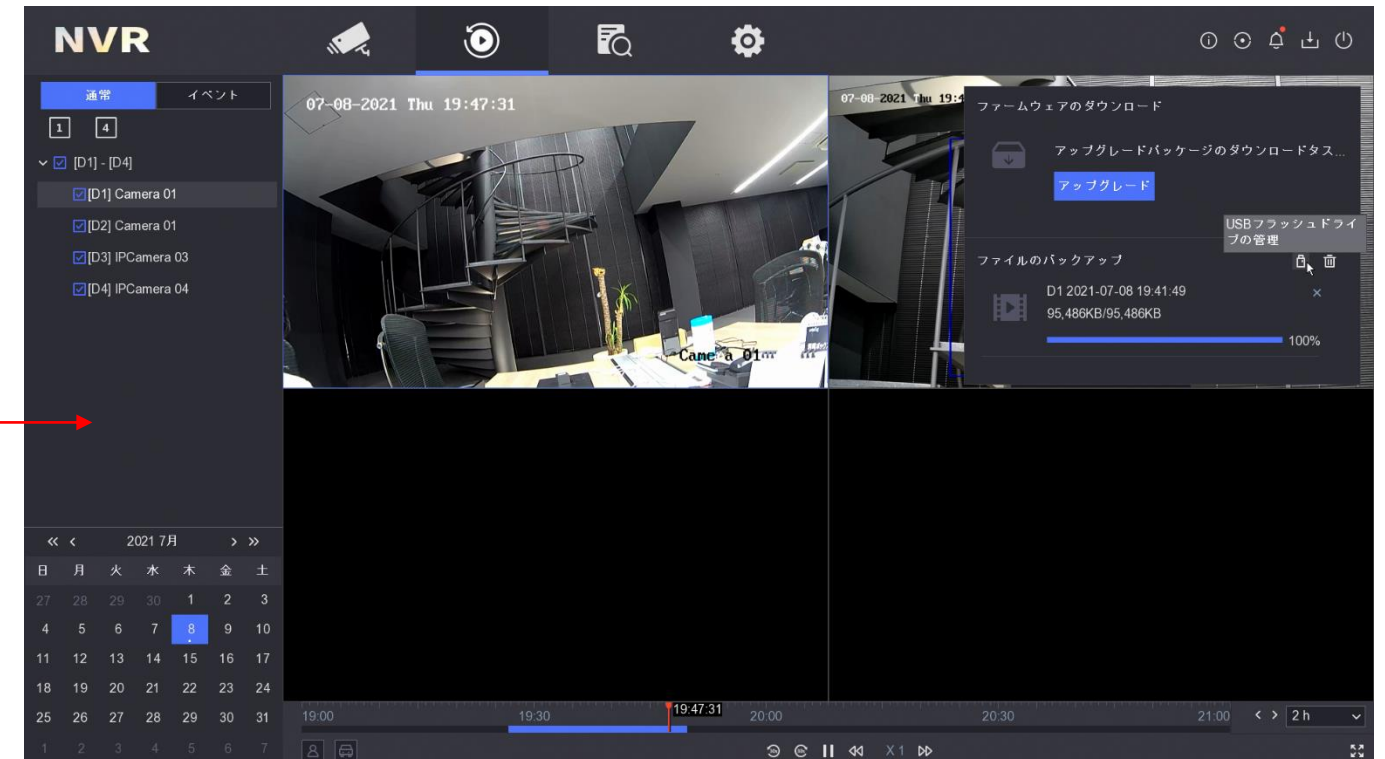
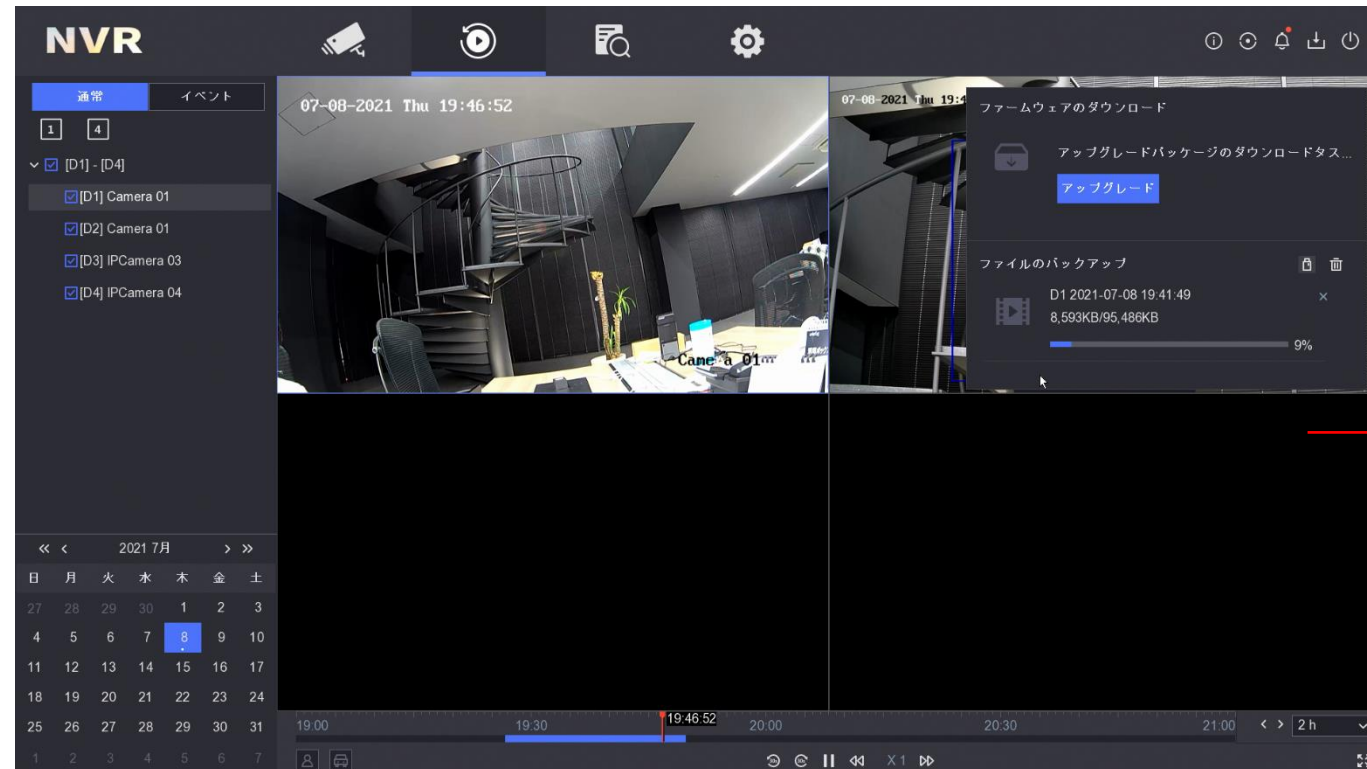


バックアップ手順1(クリップ編)

7.[ファイルのバックアップ]画面が画面右上に表示されます。

バックアップ中のゲージが 100%になればバックアップ完了です。

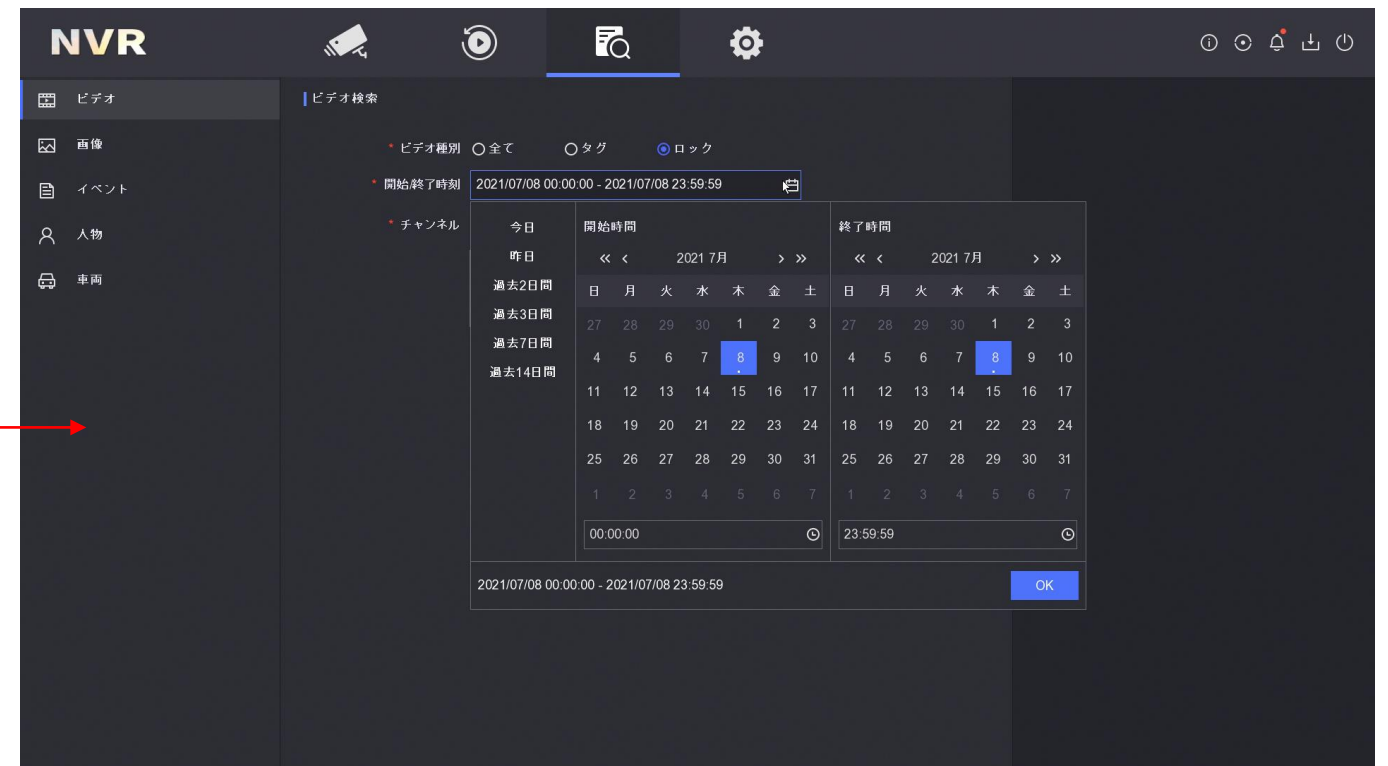
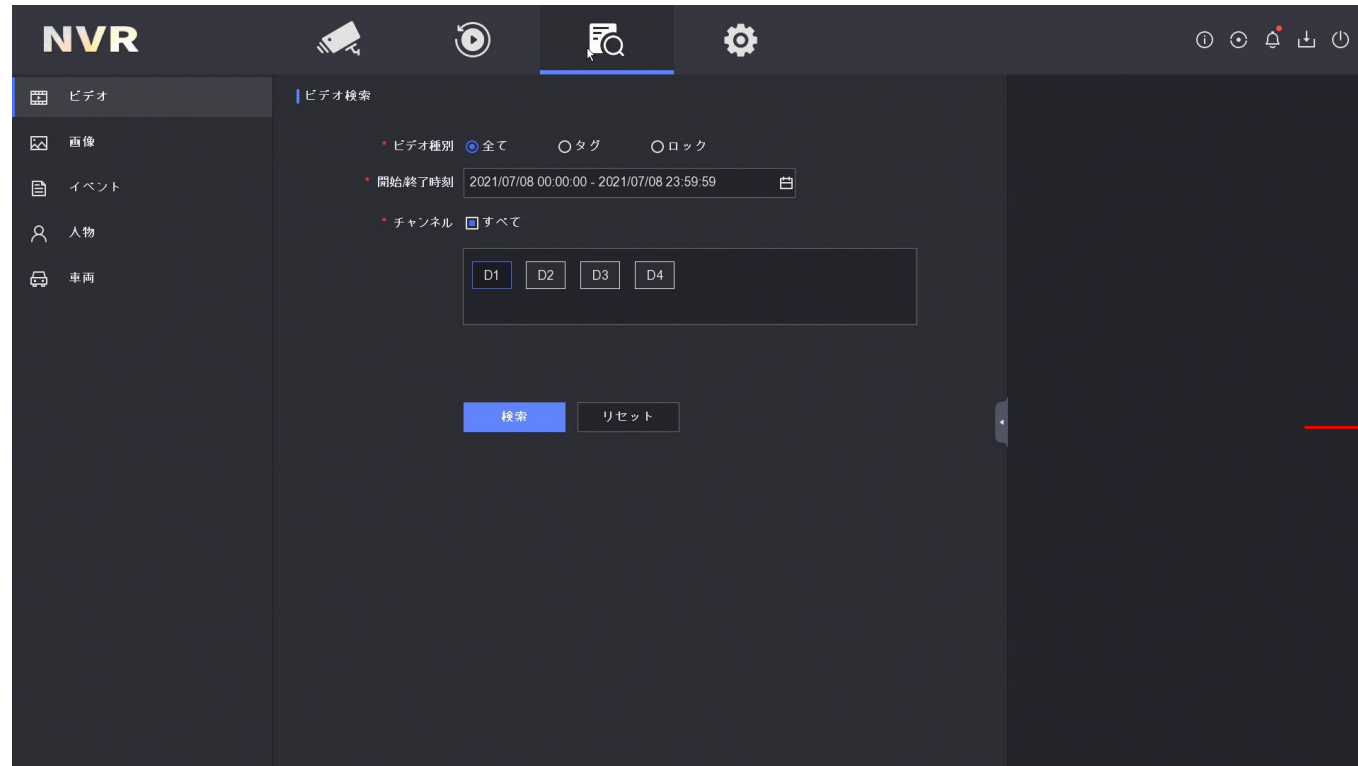
8.USBメモリーをレコーダーから抜いてください。



バックアップ手順2(検索編)

録画した映像の日時、カメラチャンネル等を指定し、USBメモリーへバックアップを行います。

- 1.レコーダーのUSBポートにUSBメモリーを差し込みます。(USBポートはレコーダーの全面、背面にそれぞれ1つずつあります。)
- 2.メニューから  を左クリックして検索にアクセスします。
3. [開始時間]と[終了時間]を左クリックして、バックアップする映像の時間をカレンダーから指定します。
- 4.[チャンネル]からカメラチャンネルを選択します。
- 5.[検索]を左クリックします。



バックアップ手順2(検索編)

6. 検索結果からバックアップを行うファイルのチェックボックスにチェックを入れて[エクスポート]を左クリックします。

7. [映像とログ]を選択して[OK]を左クリックしてください。

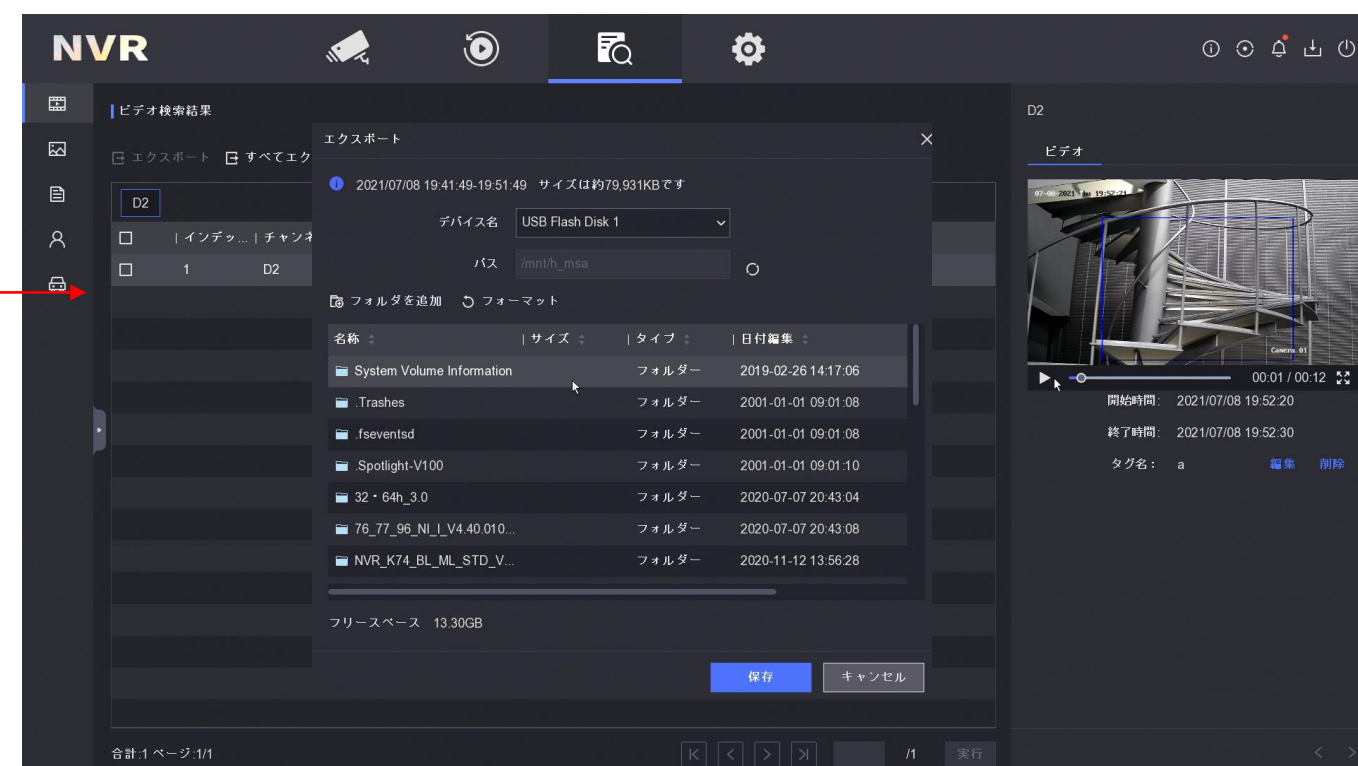
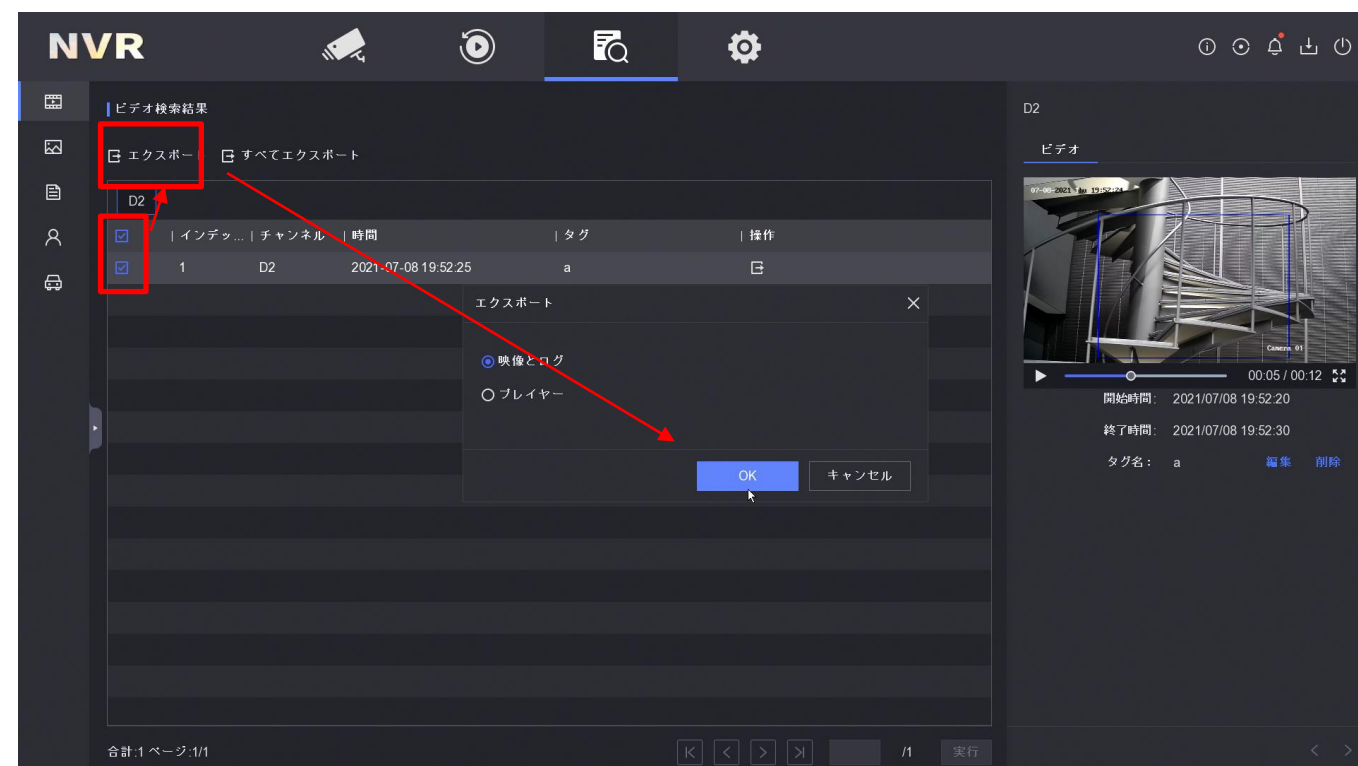
8. エクスポート画面からUSBメモリーの保存先を指定します。

USBメモリー内に新しくフォルダを作成する場合は、[フォルダを追加]を左クリックして追加します。

9. [保存]を左クリック録画映像をUSBメモリーへ保存します。

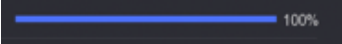
※録画映像のバックアップが上手くいかない場合は、USBのフォーマット、レコーダーの再起動、USBメモリーの変更をしてください。

※USBメモリーのフォーマットはUSBメモリー内のデータが全て削除されますのでご注意ください。

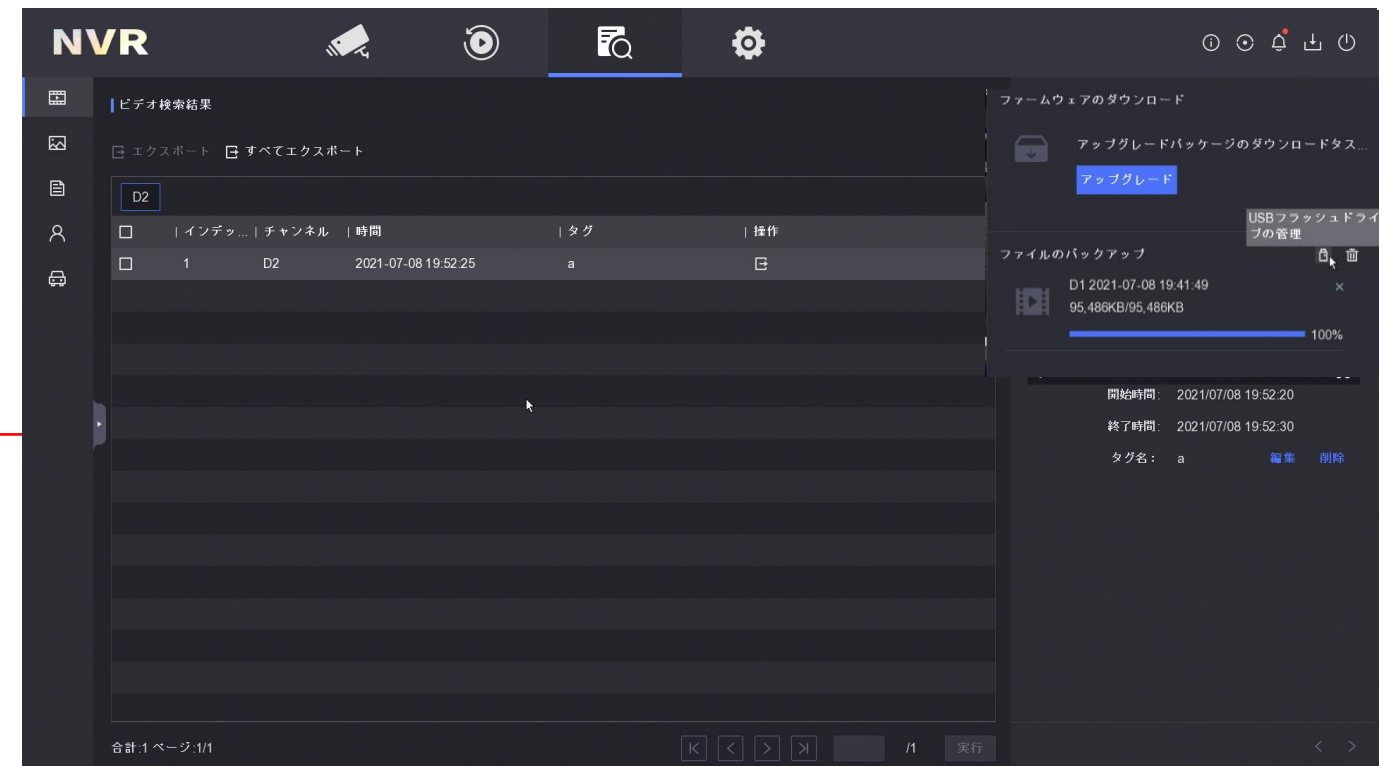
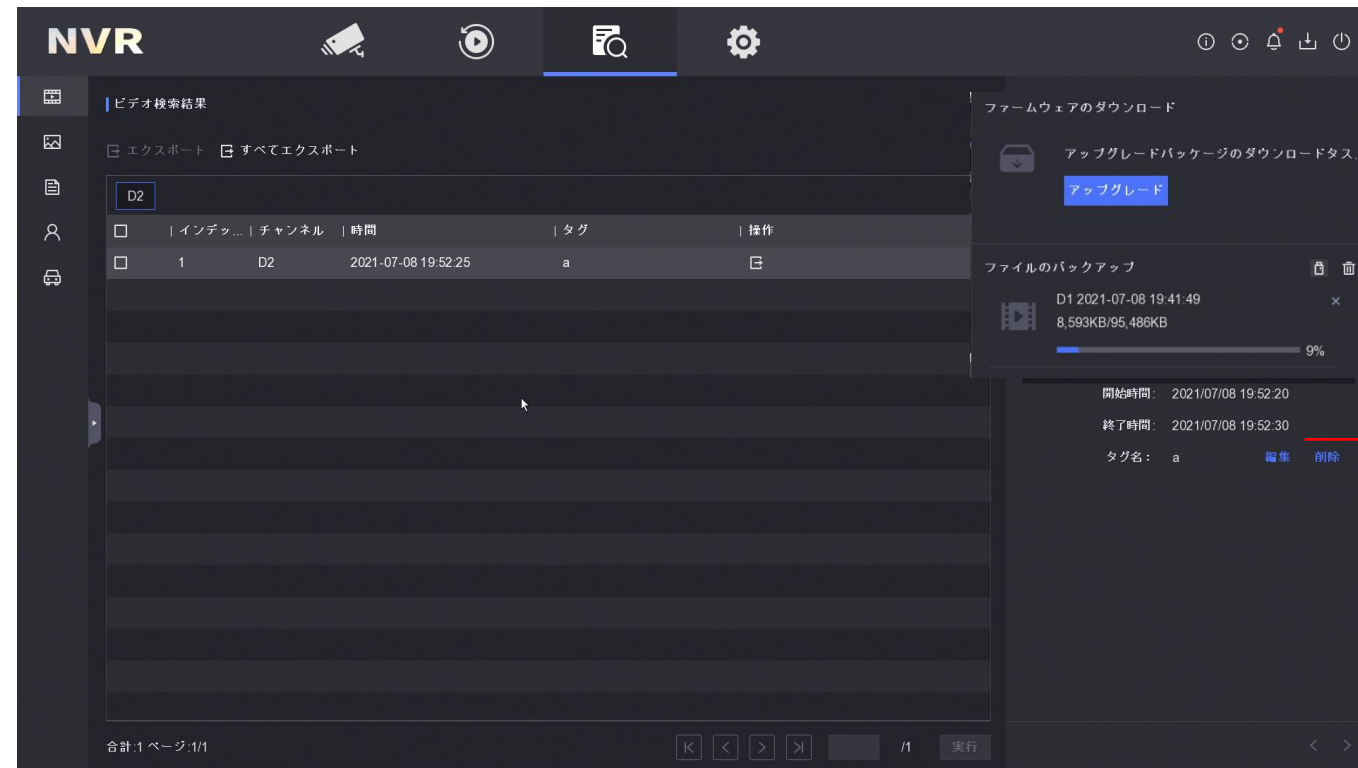


バックアップ手順2(検索編)

10.[ファイルのバックアップ]画面が画面右上に表示されます。

バックアップ中の  ゲージが  100%になればバックアップ完了です。

11.USBメモリーをレコーダーから抜いてください。



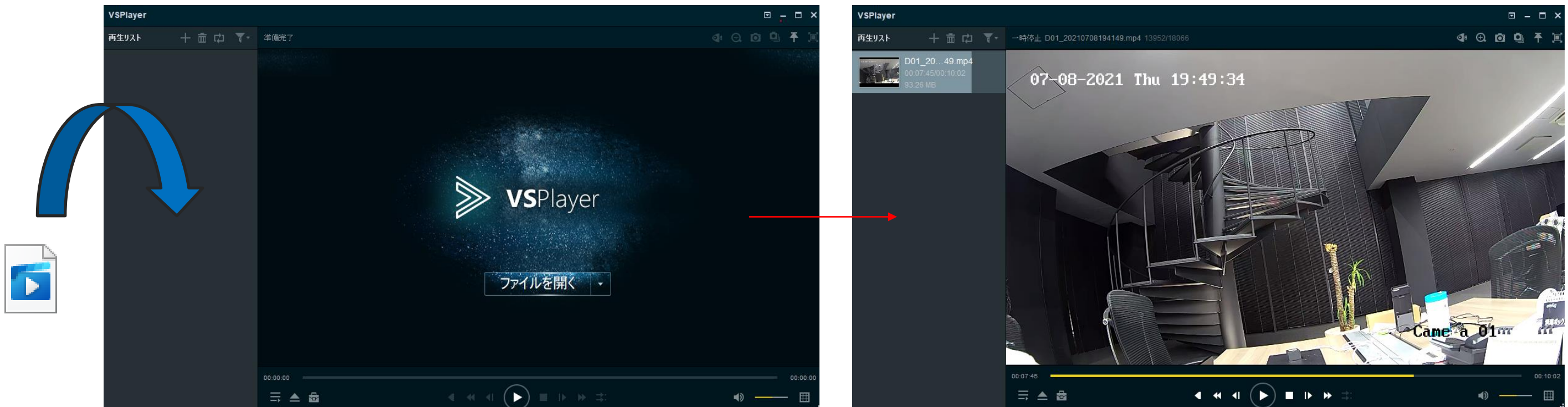
バックアップした映像の確認

1. <https://hik.dss.co.jp/support/download>のリンクから、動画再生ソフト[VSPlayer]をダウンロードします。
※Windows Media Playerでの再生はできません。

動画再生ソフト

VSPlayer (V7.3.0)

2. USBメモリーをPCへ差し込みます。
3. パソコンにインストールしたVSPlayerを起動します。
4. バックアップデータをVSPlayerに直接ドラッグ & ドロップで入れます。
5. 再生をクリックして再生を開始します。



10.

Hik-Connect設定

Hik-Connectの有効

Hik-Connectを有効にして遠隔地でもレコーダーの映像が確認できるように設定します。

- 1.メニューから  を左クリックしてシステム>ネットワーク>Hik-Connectにアクセスします。
2.  [有効化]のアイコンを左クリックして有効にします。
- 3.利用規約の画面表示後、[サービス規約～同意しました]にチェックを入れて[OK]を左クリックします。
- 4.[接続ステータス]がオンラインになれば設定完了です。
- 5.スマートフォンでアプリを起動し、QRコードを読み取ってデバイス登録を開始してください。

※オンラインにならない場合はレコーダーとルーターの接続の確認、ページを参考にデフォルトゲートウェイ・DNSサーバーのアドレスが入力されているか確認してください。

